

イベントホールトイレ改修工事設計委託

令和7年3月

発注者 戸田ポートレース企業団

設計者

図面リスト							
建築工事				電気設備工事		機械設備工事	
NO	図面名称	NO	図面名称	NO	図面名称	NO	図面名称
A-00	表紙	A-21	断面詳細図、平面詳細図 (7) 女子シャワールーム	E-01	電気工事 特記仕様書	P-01	機械設備 特記仕様書
A-01	図面リスト	A-22	展開図(1) 誰でもトイレ	E-02	電灯・動力盤単結図 照明器具姿図	P-02	衛生設備 機器表
A-02	建築改修工事特記仕様書 (1)	A-23	展開図(2) 男子トイレ 男子シャワールーム	E-03	幹線・動力設備 1階トイレ平面詳細図 改修後	P-03	衛生設備 1階平面図
A-03	建築改修工事特記仕様書 (2)	A-24	展開図(3) 女子トイレ 女子シャワールーム	E-04	電灯設備 1階トイレ平面詳細図 改修後	P-04	衛生設備 (給水 給湯) 1階トイレ平面詳細図
A-04	建築改修工事特記仕様書 (3)	A-25	展開図(4) 脱衣室(1)、(2)、(3)	E-05	コンセント設備 1階トイレ平面詳細図 改修後	P-05	衛生設備 (排水 通気) 1階トイレ平面詳細図
A-05	建築改修工事特記仕様書 (4)	A-26	展開図(5) 脱衣室(4)、(5)、(6)	E-06	放送設備 1階トイレ平面詳細図 改修後	P-06	衛生設備 (排水 通気) 1階トイレ平面詳細図
A-06	建築改修工事特記仕様書 (5)	A-27	展開図(6) WC-1、WC-2、WC-3	E-07	誘導支援設備 1階トイレ平面詳細図 改修後	P-07	衛生設備 1階トイレ撤去図
A-07	建築改修工事特記仕様書 (6)	A-28	展開図(7) WC-4、WC-5、WC-6	E-08	誘導支援設備 1階トイレ平面詳細図 改修後	P-08	スプリンクラー設備 1階トイレ平面詳細図
A-08	建築改修工事特記仕様書 (7)	A-29	天井伏せ図	E-09	自火報設備 1階トイレ平面詳細図 改修後	P-09	空調設備 1階平面図
A-09	付近見取図	A-30	建具リスト			P-10	換気設備 1階トイレ平面詳細図
A-10	配置図	A-31	サイン計画			P-11	換気設備 1階トイレ撤去図
A-11	現況図	A-32	躯体解体図			P-12	アイソメ図
A-12	工事範囲図	A-33	仮設計画(参考図)				
A-13	設計概要						
A-14	平面詳細図						
A-15	断面詳細図、平面詳細図 (1) 男子トイレ(1)						
A-16	断面詳細図、平面詳細図 (2) 男子トイレ(2)						
A-17	断面詳細図、平面詳細図 (3) 男子シャワールーム						
A-18	断面詳細図、平面詳細図 (4) 男子トイレ WC-1、WC-2、WC-3						
A-19	断面詳細図、平面詳細図 (5) 車椅子用トイレ 1, 2						
A-20	断面詳細図、平面詳細図 (6) 女子トイレ						

訂正	備考	作成 R7. 3. 31	承認	工事名称 イベントホール トイレ改修工事設計委託	設計No.	図面No. A-01
		発行 .		図面名称 図面リスト	縮尺 A1 1:50	整理No.

3 防水改修工事	7 脱気装置	(3.3.3) (3.4.3) (3.5.3) (3.6.3)						・タイル部分張替え工法接着剤適用範囲 張替え面積が比較的小さく、下地もみが健全な場所に用いる。 樹脂の種類 変成シリコン樹脂系、シリカ樹脂系	・ヒカルテ材充填工法 充填材料 品質・規格等 備考 ・シリング材 ※1成分形又は2成分形 ・シリカ樹脂系シリング材 ※行わない・行う	注入口付アカーピン 材質 ※304不鏽鋼(SUS304)、呼び径外径6mm			
		(3.1.4) (表3.1.2)											
8 その他	⑧ シーリング	シーリング改修工法の種類 ○シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・幅幅リーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 シーリング材の種類 ※下表以外は、改修標仕表3.7.1による 施工箇所 シーリングの種類(記号)						・シーリング改修工法 ・既存モルタル面・既存軸体コントリート面 ・モルタル張り ・既存モルタル仕上材の撤去及び補修 ・既存モルタル面の改修	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	5 タイプ張り			
		(3.7.2) (表3.7.1)											
9 その他		注) ボリケン系材料 … ノンブリードタイプ 変成シリコン系材料 … ローモルタル ブリッジ工法 ポンドフレーカー張り 適用する ※適用しない イエリング材張り 適用する ※適用しない 接着性試験 ※簡易接着性試験 引張接着性試験(部位:) (3.7.8)						・シーリング改修工法 ・既存モルタル面の改修	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	6 タイプ張り			
		(3.7.7)											
10 とい		・自閉樹脂塗膜防水 施工箇所 通用 便所、洗面所 大関化学工業㈱ パックス A-1工法						・シーリング改修工法 ・既存モルタル面の改修	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	7 タイプ張り			
		(3.8.2) (表3.8.1)											
11 7月にかく製笠本		といいの材種 ※配管用鋼管・ステンレス・カーブミ(パンフレット) ・硬質塗装コム管(・VP(カーブ)・RF-VP(カーブ)) 軒垂 ※スチール芯入り塗装(前高165) 谷垂 ・耐酸被覆鋼管(谷3(等品以上)) 鋼管製といいの防露巻き (3.8.2、3) (表3.8.4、5) ※行う (施工箇所) ※改修標仕表3.8.4による 室内、天井裏 防露材の取扱い放散量 準規制対象外 第三種 といいの揚排水口 ※あり(同示) なし たてどい受金物の取付工法 (3.8.3) ※図示 標仕13.5.3(d)(2)による。											
		(3.8.3) (表3.8.1)						・シーリング改修工法 ・既存モルタル面の改修	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	8 タイプ張り			
12 折板葺		ルーフレイン (3.8.3) (表3.8.1)											
		種別 施工箇所 ・陸屋根用(たて形・横形) 大屋根、設備機器置場他 ・パッコー中継用 ・バネニード 取替ルーフレイン(塗ビ系シート防水部) … ディップキンガードレイン						・シーリング改修工法 ・既存モルタル面の改修	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	9 タイプ張り			
4 外壁改修工事		種類 最小呼称肉厚(mm) ・250形 1.6 ・300形 1.8 ・350形 2.0 ・100形 ○200形 1.6											
		表面処理 固定間隔 備考 ※固定方法及び間隔は図示による コナ部、突当り部等の役物は本体製造所の仕様による。 ・B-1又はB-2種 ・メカ仕様						・シーリング改修工法 ・既存モルタル面の改修	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	10 タイプ張り			
共通事項		板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 (3.9.3) (13.3.2、3) (表3.2.1)											
		形 式 ※重ね形 … はぜ縫め形 … かん合形 形状(mm) 山高(160、120) 山(500、550) 板厚※0.8~0.6 材 料 ※塗装溶融55%にぐる亜鉛合金めっき鋼板及び銅帯(CGLCR-20-AZ150) (規格等) 7ミクロン鋼板素地 軒先面平板 ※有り 無し 断熱材 ※有り 種別(スパーエコソルト) 厚さ(5)mm 防火性能(不燃材) 耐火性能 ※30分耐火 無し											
13 改修材料		調査範囲 ※外壁改修範囲 図示の範囲 (1.5.2) (1)ひび割れの幅及び長さを壁面に表示し、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び鉛汁の流出の有無を調査する。 (2)モルタル仕上げ及びシリリング仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、欠陥部の形状寸法等を調査する。 (3)シリリング表面のはがれ及びく落部を壁面に表示する。 (4)塗り仕上については、コントラ又はモルタル表面のはがれ及びく落部を壁面に表示し、既存塗装と新規塗装との適合性を確認する。 調査報告書の部数 ※2部						・シーリング改修工法 ・既存モルタル面の改修	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	11 タイプ張り			
		既製調合モルタル 保水率 単位容積質量 接着強さ(N/mm2) (kg/m3) 標準時 伸長率後 70.0以上 1.80程度 0.60程度 0.40以上 0.20以下 4.0以上											
4 外壁改修工事		初期硬化性 接着強さ(標準) 伸縮強さ(N/mm2) (N/mm2) 標準時 伸長率後 標準2.0以上 標準6.0以上 50.0以上 30.0以上 3.0以下						・シーリング改修工法 ・既存モルタル面の改修	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	12 タイプ張り			
		(1)均質で有害と認められる異物の混がないこと。 (2)対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 (3)常温常湿(温度20±5℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6箇月間保存したのちであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。 (4)試験方法はJIS A 6024(建築補修用注入モルタル)に準ずる。											
共通事項		・可とう性モルタル 比重(押出し性) スランプ(mm) 加熱減量(%) 引張強さ(N/mm2) 伸び(%) 引張接着性 表示値 ±0.10 60以下 3.0以下 5.0以下 常温物性1.0以上 常温物性30.0以上 最大引張応力1.0N/mm2以上 低温度1.0以上 低温度30.0以上 加熱20℃以上 加熱物性30.0以上 加熱劣化1.0以上 10.0以上						・シーリング改修工法 ・既存モルタル面の改修	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	13 タイプ張り			
		(1)均質で有害と認められる異物の混がないこと。 (2)対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 (3)常温常湿(温度20±5℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6箇月間保存したのちであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。											
4-1 外壁改修工事		コンクリート打放し仕上げ外壁						・シーリング改修工法 ・既存モルタル面の改修	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	14 タイプ張り			
			(4.2.2)										
4-2 外壁改修工事		1 ひび割れ部改修工法						・シーリング改修工法 ・既存モルタル面の改修	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	15 タイプ張り			
			(4.2.2)										
4-3 外壁改修工事		2 ひび割れ部改修工法						・シーリング改修工法 ・既存モルタル面の改修	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	16 タイプ張り			
			(4.2.2)										
4-4 外壁改修工事		3 既存タイル張りの撤去						・シーリング改修工法 ・既存モルタル面の改修	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	17 タイプ張り			
			(4.2.2)										
4-5 外壁改修工事		4 ひび割れ部改修工法						・シーリング改修工法 ・既存モルタル面の改修	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	18 タイプ張り			
			(4.2.2)										
4-6 外壁改修工事		5 タイプ張り						・シーリング改修工法 ・既存モルタル面の改修	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	19 タイプ張り			
			(4.2.2)										
4-7 外壁改修工事		6 目地改修工法						・目地ひび割れ部改修工法 既製鋼合モルタル 使用する ・伸縮調整目地改修工法 シリング用材 種類 ※改修標仕表3.7.1による	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	20 タイプ張り			
			(4.2.2)										
4-8 外壁改修工事		7 タイプ張り						・シーリング改修工法 ・既存モルタル面の改修	(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	21 タイプ張り			
			(4.2.2)										
4-9 外壁改修工事		8 タイプ張り						・					

6 内 装 改 修 工 事	<p>⑪せっこうボード、 その他のボード、 及び合板張り</p> <p>せっこうボード及びその他のボードの厚さ、規格等 (6.13.2) (表6.13.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>種類</th><th>JISの記号</th><th>厚さ (mm)、規格等</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>セッコウボード</td><td>GB-R</td><td>◎9.5 (不燃) 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃)</td></tr> <tr><td>セッコウボード</td><td>GB-S</td><td>・9.5 (準不燃) ◎12.5 (○不燃) - 準不燃</td></tr> <tr><td>・強化セッコウボード</td><td>GB-F</td><td>・12.5 (不燃) - 15.0 (不燃) - 21.0 (不燃)</td></tr> <tr><td>・化粧セッコウボード</td><td>GB-D</td><td>模様 (- 標目) 専用下地材付き ・和室天井用 ・壁用 ・洋室天井用</td></tr> <tr><td>・セッコウボード</td><td>GB-L</td><td>・9.5 (準不燃) - 12.5 (不燃) ・9.5 (準不燃) - 12.5 (不燃) ・セッコウボード ・7.0 ※9.5 (不燃)</td></tr> <tr><td>・燃焼層セッコウボード</td><td>GB-NC</td><td>※9.5 (不燃)</td></tr> <tr><td>・普通硬質セッコウボード</td><td>GB-R-H</td><td>・9.5 (不燃) - 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃)</td></tr> <tr><td>・シングル硬質石膏ボード</td><td>GB-S-H</td><td>・9.5 (不燃) - 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃)</td></tr> <tr><td>・化粧硬質セッコウボード</td><td>GB-D-H</td><td>・9.5 (準不燃) - 不燃 - 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃) ・吸放湿セッコウボード ・GB-R-Hc ・9.5 (準不燃) - 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃) ・9.5 (準不燃) - 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃)</td></tr> <tr><td>・吸音用孔あき石膏ボード</td><td>GB-P</td><td>(準不燃) - 9.5 - 12.5</td></tr> <tr><td>・化粧セッコウ吸音ボード</td><td>GB-PD</td><td>(準不燃) - 9.5 - 12.5</td></tr> <tr><td>・特殊セッコウ吸音ボード</td><td>GB-PS</td><td>(準不燃) - 9.5 - 12.5</td></tr> <tr><td>・ケイ酸ジム板</td><td>◎0.8FK</td><td>タフ2 (無紙) ・4 ◎6 - 8</td></tr> <tr><td>・普通ボード</td><td>・1.0FK</td><td>模様 (-) - 4 ◎6 - 8 ・6</td></tr> <tr><td>・化粧ボード</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・孔あきボード</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑫ロッカール化粧吸音板</td><td>DR</td><td>◎ラックタイプ (※9 - 12) ・凹凸タイプ (※12 - 15)</td></tr> <tr><td>・ロッカール化粧吸音板 (軒</td></tr></tbody></table>	種類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等	セッコウボード	GB-R	◎9.5 (不燃) 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃)	セッコウボード	GB-S	・9.5 (準不燃) ◎12.5 (○不燃) - 準不燃	・強化セッコウボード	GB-F	・12.5 (不燃) - 15.0 (不燃) - 21.0 (不燃)	・化粧セッコウボード	GB-D	模様 (- 標目) 専用下地材付き ・和室天井用 ・壁用 ・洋室天井用	・セッコウボード	GB-L	・9.5 (準不燃) - 12.5 (不燃) ・9.5 (準不燃) - 12.5 (不燃) ・セッコウボード ・7.0 ※9.5 (不燃)	・燃焼層セッコウボード	GB-NC	※9.5 (不燃)	・普通硬質セッコウボード	GB-R-H	・9.5 (不燃) - 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃)	・シングル硬質石膏ボード	GB-S-H	・9.5 (不燃) - 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃)	・化粧硬質セッコウボード	GB-D-H	・9.5 (準不燃) - 不燃 - 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃) ・吸放湿セッコウボード ・GB-R-Hc ・9.5 (準不燃) - 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃) ・9.5 (準不燃) - 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃)	・吸音用孔あき石膏ボード	GB-P	(準不燃) - 9.5 - 12.5	・化粧セッコウ吸音ボード	GB-PD	(準不燃) - 9.5 - 12.5	・特殊セッコウ吸音ボード	GB-PS	(準不燃) - 9.5 - 12.5	・ケイ酸ジム板	◎0.8FK	タフ2 (無紙) ・4 ◎6 - 8	・普通ボード	・1.0FK	模様 (-) - 4 ◎6 - 8 ・6	・化粧ボード			・孔あきボード			⑫ロッカール化粧吸音板	DR	◎ラックタイプ (※9 - 12) ・凹凸タイプ (※12 - 15)	・ロッカール化粧吸音板 (軒
種類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等																																																						
セッコウボード	GB-R	◎9.5 (不燃) 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃)																																																						
セッコウボード	GB-S	・9.5 (準不燃) ◎12.5 (○不燃) - 準不燃																																																						
・強化セッコウボード	GB-F	・12.5 (不燃) - 15.0 (不燃) - 21.0 (不燃)																																																						
・化粧セッコウボード	GB-D	模様 (- 標目) 専用下地材付き ・和室天井用 ・壁用 ・洋室天井用																																																						
・セッコウボード	GB-L	・9.5 (準不燃) - 12.5 (不燃) ・9.5 (準不燃) - 12.5 (不燃) ・セッコウボード ・7.0 ※9.5 (不燃)																																																						
・燃焼層セッコウボード	GB-NC	※9.5 (不燃)																																																						
・普通硬質セッコウボード	GB-R-H	・9.5 (不燃) - 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃)																																																						
・シングル硬質石膏ボード	GB-S-H	・9.5 (不燃) - 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃)																																																						
・化粧硬質セッコウボード	GB-D-H	・9.5 (準不燃) - 不燃 - 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃) ・吸放湿セッコウボード ・GB-R-Hc ・9.5 (準不燃) - 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃) ・9.5 (準不燃) - 12.5 (不燃) - 15.0 (不燃)																																																						
・吸音用孔あき石膏ボード	GB-P	(準不燃) - 9.5 - 12.5																																																						
・化粧セッコウ吸音ボード	GB-PD	(準不燃) - 9.5 - 12.5																																																						
・特殊セッコウ吸音ボード	GB-PS	(準不燃) - 9.5 - 12.5																																																						
・ケイ酸ジム板	◎0.8FK	タフ2 (無紙) ・4 ◎6 - 8																																																						
・普通ボード	・1.0FK	模様 (-) - 4 ◎6 - 8 ・6																																																						
・化粧ボード																																																								
・孔あきボード																																																								
⑫ロッカール化粧吸音板	DR	◎ラックタイプ (※9 - 12) ・凹凸タイプ (※12 - 15)																																																						
・ロッカール化粧吸音板 (軒																																																								

7 塗装改修工事	① 材料	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 (7.1.3)				8 耐震改修工事 共通事項	1 適用範囲	工事内容	・現場打ち鉄筋コート壁の増設工事 (8.1.1)				8-3 ① あと施工アンカーアンカーエンジニアリング	材料等 (8.2.4)				設計基準強度 (6.14.1~3)						
		※規制対象外 ・第三種	建物内部に使用する塗料の材質 ・水性系	防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(施工箇所:)	(7.1.3)				・鉄骨アーレスの設置工事	※本体打込み式	・柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)	※図示	・柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き工法)	※図示	・柱補強工事 (連続織維補強工法)	※図示	・耐震アーリ新設工事	・実施する(試験方法及び試験数 ※図示)	・実施しない	セメントの種類 ※普通セメント又は混合セメントA種 ・高炉セメントB種 (捨コンクリート)				
② 下地調整	既存塗膜の除去範囲 (塗替えでRB種の場合) (7.2.1) (表7.2.1~7)	※塗替え面積の30% 図示	下地調整の種別等 (7.2.2~7) (表7.2.1~7)	下地面の種類 塗替え 新規 ひび割れ部の補修	木部 ※ RB種 CRA種 CRB種	鉄鋼面 ※ RB種 CRA種	垂船めっき鋼面 (鋼製建具を除く) ※ RB種 CRA種	モルタル面、プラスチ一面 ※ RB種 CRA種 CRB種 行う	コンクリート面、ALCパネル面 (2-UE、2-ASE、2-FUEは除く) ※ RB種 CRA種 CRB種 行う	コンクリート面、押出成形セメント板面 (2-UE、2-ASE、2-FUEの場合) ※ RB種 CRA種 CRB種 行う	せっこうボード面、その他ボード面 ※ RB種 CRA種 CRB種	8-1 適用範囲	工事内容	・施工調査 (施工計画書、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修) ・撤去工事 (設備機器配管及び仕上げの取壊し・撤去 (下地の一部又はすべてを含む) 構造体のはつり) ・鉄筋工事 ・あと施工アーリ工事 ・シカリ工事 ・鉄骨工事 ・アーリ工事 ・連続織維補強工事 ・スリット新設工事 ・免震改修工事 ・制振改修工事 ・その他の工事	8-2 ① あと施工アンカーアンカーエンジニアリング	材料等 ①金属系アンカーアンカーエンジニアリング ・セット方式 ・引張耐力 ・せん断耐力 ・接合筋の種類、径、長さ 性能確認試験 ②接着系アンカーアンカーエンジニアリング ・カバセル型 ・引張耐力 ・せん断耐力 接着剤の品質 アンカーフレームの種類 性能確認試験 探査範囲 ・あと施工アーリー施工部分すべて ・図示 探査方法 ・鉄筋探査機 (金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨だしを行う ・はつり出しによる	8-3 ② 穿孔前の埋込み配管等の探査	探査範囲 ・あと施工アーリー施工部分すべて ・図示 探査方法 ・鉄筋探査機 (金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨だしを行う ・はつり出しによる	8-4 ③ 施工確認試験	試験の適用 ・実施する(試験方法 ※引張試験 (D22 × 15本) 確認強度 ※図示 ④ 実施しない	8-5 ④ 高い強度のコンクリート	設計基準強度 設計基準強度 (N/mm2) ・27 ~ 30 ~ 33 ~ 36	適用箇所	セメントの種類 ※普通セメント又は混合セメントA種 ・高炉セメントB種 (捨コンクリート)
③ 鋸止め塗装	鋸止め塗装の種別等 (7.3.2.3) (表7.3.1~4)	塗装面 塗料種別 工程種別 備考	8-6 ⑤ 断熱材兼用型枠	設計基準強度 設計基準強度 (N/mm2) ・27 ~ 30 ~ 33 ~ 36	適用箇所	セメントの種類 ※普通セメント又は混合セメントA種 ・高炉セメントB種 (捨コンクリート)																		
④ 塗装	(7.4.1) (表7.4.1~7、16.1)	塗装の種類 塗料面 工程 塗替え 新規	8-7 ⑥ 混和材料	混合材料 ※混和剤 ※高性能AE減水剤標準規格又は遮延形	適用及び適用箇所は、19章内装工事10断熱材による。	セメントの種類 ※普通セメント又は混合セメントA種 ・高炉セメントB種 (捨コンクリート)																		
○合成樹脂調合ペイント 塗り(SOP)	木部 ※ B種 CRA種 CRB種	8-8 ⑦ 断熱材兼用型枠	断熱材兼用型枠 ・木質系 ・コンクリート系 ・アスファルト系	厚さ (mm) ※40以下 =厚さ/熱伝導率 =0.676以上 (m · K/W)	品質等 ・断熱抵抗 =厚さ/熱伝導率 =0.676以上 (m · K/W)	セメントの種類 ※普通セメント又は混合セメントA種 ・高炉セメントB種 (捨コンクリート)																		
塗装の種類 ○1種 ○2種	鉄鋼面 ※ B種 CRA種 CRB種	8-9 ⑧ コンクリートの打込み工法等	部位ごとのコンクリート打込み工法の指定 補強工法 現場打ち鉄筋 シングル壁の増設工事 鉄筋アーリー 柱及び接合金網巻き工法接合 フープ巻き工法	打込み工法 ・すべての増設壁・図示 ・流し込み工法 [6.19.8. (a) (1) 及び (b)] ・圧入工法 [6.19.8. (a) (2) 及び (c)] ・図示 ・すべての増設壁・図示 ・流し込み工法 [6.19.8. (a) (1) 及び (b)] ・圧入工法 [6.19.8. (a) (2) 及び (c)] ・すべての増設壁・図示 ・図示	8-10 ⑨ 部位ごとのコンクリート打込み工法の指定 打込み工法 現場打ち鉄筋 シングル壁の増設工事 鉄筋アーリー 柱及び接合金網巻き工法接合 フープ巻き工法	セメントの種類 ※普通セメント又は混合セメントA種 ・高炉セメントB種 (捨コンクリート)																		
・クリヤラッカーカッタ (CL) ・フルアル酸樹脂エナメル 塗り(FE)	屋内木部 屋内鉄鋼面 屋内垂船めっき鋼面 ・A種 B種	8-11 ⑩ 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第7条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(M)グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・監督職員の承認する工場	部位 ・柱 ・梁 ・梁柱接合部 ・柱頭柱脚の隙間寸法 柱頭柱脚の隙間寸法 既存柱外周部あと打ちコンクリート又はモルタルの厚さ	8-12 ⑪ 入熱、P/A間温度 溶接条件	鉄筋コート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法での型枠等 柱頭柱脚の隙間寸法を埋め込む																		
・アクリル樹脂系分散系 塗料塗り(NAD)	屋内コントакート面 屋内モルタル面 屋外コントакート面 屋内モルタル面	8-13 ⑫ 施工管理技術者	鋼材と接合材料の組合せと溶接条件 ※鉄骨溶接基準図による 適用箇所 ・柱、梁、アーリー端部の完全溶込み溶接部 ・図示	柱頭柱脚の隙間寸法 ※図示 既存柱外周部あと打ちコンクリート又はモルタルの厚さ	8-14 ⑬ 鋼材	柱頭柱脚の隙間寸法 ※JIS規格による 適用する ・適用しない																		
・アクリル樹脂エナメル 塗り(AE)	屋外鉄鋼面 屋外垂船めっき鋼面 屋外コントакート面 屋外モルタル面	8-15 ⑭ 高力ボルト	鋼材の材質等 ・柱頭柱脚の隙間寸法 ・梁のアーリー端部の完全溶込み溶接部 ・図示	柱頭柱脚の隙間寸法 ※JIS規格による 適用する ・適用しない	8-16 ⑮ 入熱、P/A間温度 溶接条件	柱頭柱脚の隙間寸法 ※JIS規格による 適用箇所 ・柱、梁、梁柱接合部 ・図示																		
・2液形ポリウレタン エナメル塗り(2-UE)	屋外鉄鋼面 屋外垂船めっき鋼面 屋外コントакート面 屋外モルタル面	8-17 ⑯ 溶融垂船めっき高力ボルト	溶融垂船めっき高力ボルト ・柱頭柱脚の隙間寸法 ・梁のアーリー端部の完全溶込み溶接部 ・図示	柱頭柱脚の隙間寸法 ※JIS規格による 適用する ・適用しない	8-18 ⑰ 普通ボルト	溶融垂船めっき高力ボルト ・柱頭柱脚の隙間寸法 ・梁のアーリー端部の完全溶込み溶接部 ・図示																		
○アクリルシリコン樹脂 エナメル塗り(2-ASE)	屋内コントакート面 屋内モルタル面 屋外コントакート面 屋外モルタル面	8-19 ⑱ アンカーボルト	アンカーボルトの保持及び埋込み工法の種別 ・構造用アンカーボルト (※図示) ・建方用アンカーボルト (・A種 B種 C種)	柱頭柱脚の隙間寸法 ※JIS規格による 適用する ・適用しない	8-20 ⑲ 鋼骨工作板組	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種																		
・常温乾燥形ふっ素樹脂 エナメル塗り(2-FUE)	屋外鉄鋼面 屋外垂船めっき鋼面 屋外コントакート面 屋外モルタル面	8-21 ⑳ 溶接接合	完全溶込み接合部の超音波探傷試験 放射線透過試験 マクロ試験 (エトナガ) 使用	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種	8-22 ⑳ 鋼骨工作板組	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種																		
・つや有合成樹脂エマル ションペイント塗り (EP-G)	屋内木部 屋内鉄鋼面 屋内垂船めっき鋼面 コンクリート面 モルタル面 セッコウボード面 その他ボード面	8-23 ⑳ 鋼骨工作板組	開先の形状 ・鉄骨溶接基準図による 鋼製ひだの切削する部分 ・図示	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種	8-24 ⑳ 鋼骨工作板組	開先の形状 ・鉄骨溶接基準図による 鋼製ひだの切削する部分 ・図示																		
○合成樹脂エマルション ペイント塗り(EP)	コンクリート面 モルタル面 セッコウボード面 その他ボード面	8-25 ⑳ 鋼骨工作板組	スクリューボルトの形状 ・柱頭柱脚の隙間寸法 ・梁のアーリー端部の完全溶込み溶接部 ・図示	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種	8-26 ⑳ 鋼骨工作板組	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種																		
・合成樹脂エマルション 模様塗料塗り(EP-T)	屋内コントакート面 屋内モルタル面 グラスフェース面 セッコウボード面等 RC種 C-3種 A種 B種	8-27 ⑳ 鋼骨工作板組	溶接接合 ・柱頭柱脚の隙間寸法 ・梁のアーリー端部の完全溶込み溶接部 ・図示	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種	8-28 ⑳ 鋼骨工作板組	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種																		
・ルタントラック塗り(U)	木部 ・A種 B種	8-29 ⑳ 鋼骨工作板組	溶接接合 ・柱頭柱脚の隙間寸法 ・梁のアーリー端部の完全溶込み溶接部 ・図示	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種	8-30 ⑳ 鋼骨工作板組	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種																		
・オイルステイン塗り(OS)	木部 ・A種 B種	8-31 ⑳ 鋼骨工作板組	溶接接合 ・柱頭柱脚の隙間寸法 ・梁のアーリー端部の完全溶込み溶接部 ・図示	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種	8-32 ⑳ 鋼骨工作板組	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種																		
・マスチック塗装塗り A種及びC種の凸面処理 ・行う ・行わない	コンクリート面 押出成形セメント板面 モルタル面 セッコウボード面等 木部 ・A種 B種	8-33 ⑳ 鋼骨工作板組	溶接接合 ・柱頭柱脚の隙間寸法 ・梁のアーリー端部の完全溶込み溶接部 ・図示	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種	8-34 ⑳ 鋼骨工作板組	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種																		
○アクリルエマルジョン塗装 (AEP)	セッコウボード面等 木部 ・A種 B種	8-35 ⑳ 鋼骨工作板組	溶接接合 ・柱頭柱脚の隙間寸法 ・梁のアーリー端部の完全溶込み溶接部 ・図示	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種	8-36 ⑳ 鋼骨工作板組	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種																		
○オイルエマルジョン塗装 (OSUC)	木部 ・A種 B種	8-37 ⑳ 鋼骨工作板組	溶接接合 ・柱頭柱脚の隙間寸法 ・梁のアーリー端部の完全溶込み溶接部 ・図示	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種	8-38 ⑳ 鋼骨工作板組	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種																		
・高性能水性反応硬化形ガラス塗料(AEP-R) : 防火防藻塗装 工程 ... (新規) B種		8-39 ⑳ 鋼骨工作板組	溶接接合 ・柱頭柱脚の隙間寸法 ・梁のアーリー端部の完全溶込み溶接部 ・図示	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種	8-40 ⑳ 鋼骨工作板組	柱底均しモルタルの工法の種別 ※A種 B種																		

訂正	年 月 日	備考 ※建築官行指導等の事由により、計画内容に変更が 生じる場合があります。 ※現況と計画の内容と異なる場合は現況は優先とし、 それにより変更が生じる場合があります。	作成 R7.3.31	承認	工事名称 イベントホールトイレ改修工事設計業務	設計NO	図面NO A-06
	発行				図面名称 建築工事特記仕様書(5)	縮尺	整理NO

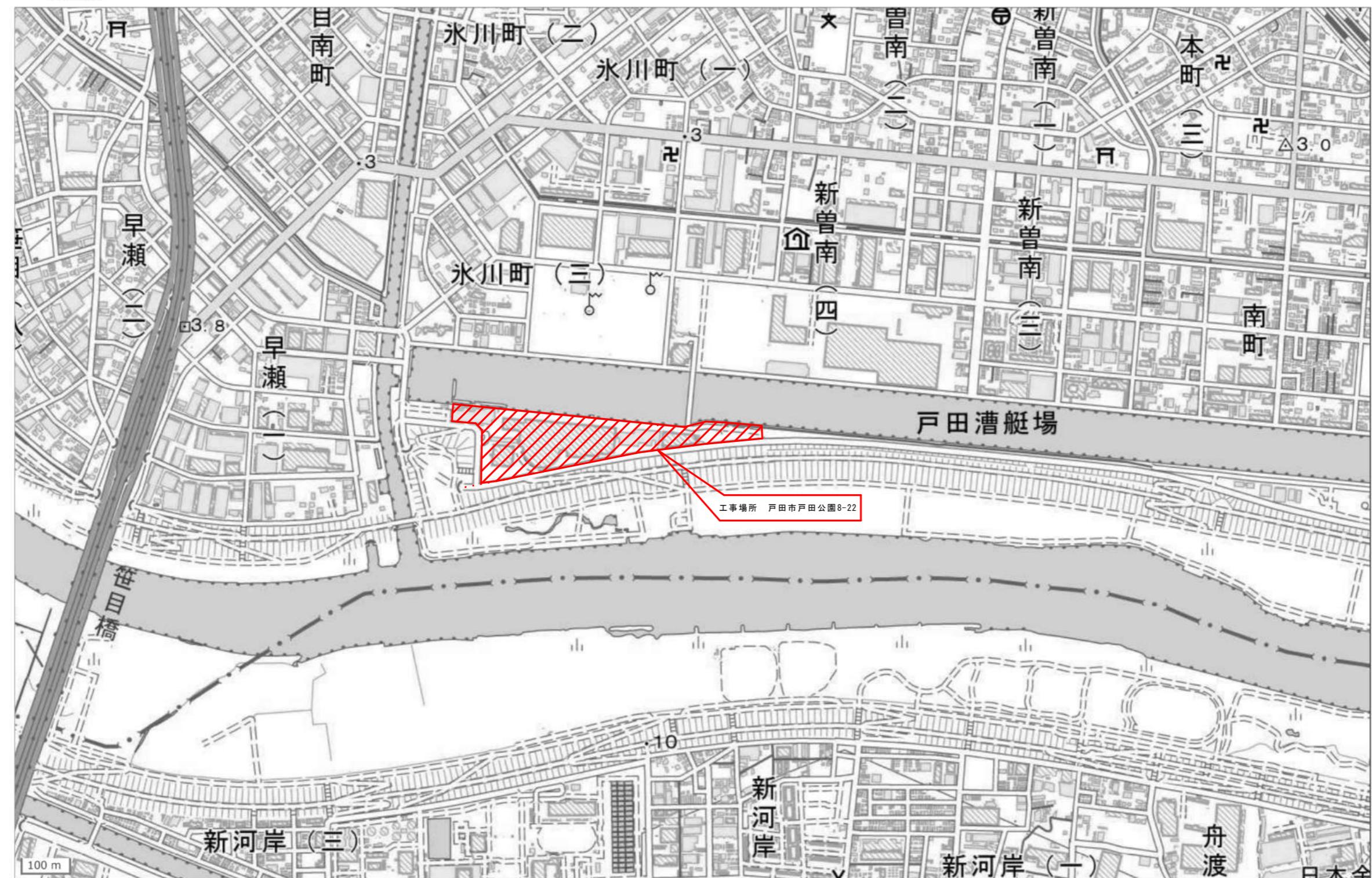
鉄骨工事	11 メット (頭付きメット) JIS B 1198	呼び名等 呼び名 呼び長さ (mm) 通用箇所 ・16 ・19 ・22	アスペクト含有保温材等の除去 (レバム2) 行う 除去対象範囲 ※図示 材 料 名 厚さ (mm) 処理を行う範囲 数量 (m) パールスカウ (煙突断熱材) 75 ※図示 ・ ※図示 ・ ※図示 ・ ※図示 ・ ※図示 ・	12 鋼止め塗装 耐火被覆材の接着する面の塗装 (8.16.3) ・行う (※JIS K 5622) ※行わない	アスペクト含有成形板の除去 (レバム3) 行う 種 别 所要性能及び適用箇所 ・耐火材 ・乾式吹付ロッケル 吹付け ・半乾式吹付ロッケル ・湿式吹付ロッケル ・耐火板張り ・耐火材巻付け ・アスファルト塗り
	12 鋼止め塗装				
	13 耐火被覆	種別等 ※図示 (8.17.2~7)			
	9 ① アスペクト含有建材の処理工事	分析によるアスペクト含有の調査 ・行う (採取箇所 ※図示) 調査方法 材料名 調査方法 (1材当りの試料数) ※定性分析 (※3) ・定性分析 (・3) ※定性分析 (※3) ・定性分析 (・3) ※定性分析 (※3) ・定性分析 (・3)	既存建物は、竣工時期が昭和54年2月であることから、当時使用されている建材は、アスペクトを含有していると思われます。	2 外断熱改修工事 断熱材の種類 (9.3.2)	7 PCB含有シリカ材処分 第一次判定 現場にシリカを採取し、シリカ材種及びPCB含有分析の要否を判定する 採取箇所数 計 箇所 採取箇所 ※図示
		分析方法 ※JIS A 1481 (建材製品中のアスペクト含有率測定方法) による 分析結果については、監督職員に報告すること 報告書の様式 ・(社)日本作業環境測定協会発行「石綿分析結果報告書」			第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う 分析箇数 計 箇所
		アスペクト粉じん濃度測定 (9.1.1) ・行う (採取箇所 ※図示) 測定時期、場所及び測定点数	既存外壁の仕上材の撤去 ・あり ・なし 下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様 通気層 ・あり (mm) ・なし 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 特記なき事項は、製造所の仕様による。	3 がれき改修工事 複層ガルバニの厚さ 建具表による 複層ガルバニの断熱性・日射遮へい性による区分 ※U3-1 U3-2 (9.4.2)	8.1 植木の植栽基盤整備 芝及び地被類 (23.2.2, 3) (表23.2.1~2) ※行う ・行わない ※行う ・行ない ※行う ・行ない
		测定時期、場所及び測定点数			13 1 植木の植栽基盤整備 芝及び地被類 (23.2.2, 3) (表23.2.1~2) ※行用 有効土層の厚さ (cm) 工法 整備範囲 ※行う ・行ない ※行う ・行ない ※行う ・行ない
		適用 名称 测定時期 测定場所 测定点数 (各処理作業室ごと) 備 考 ・測定1 处理作業室内 各 () 点 ・測定2 处理作業前 施工区画周辺 計2点 又は敷地境界 ・測定3 处理作業室内 各 () 点 ・測定4 处理作業中 センサーピート・入口 各1点 空気の流れを確認 負圧・除じん装置の排出口 各1点 除じん装置の性能確認 ・測定5 施工区画周辺 4方向各1点 又は敷地境界 ・測定6 处理作業後 施工区画周辺 4方向各1点 (隔離シート又は敷地境界) ・測定7 撤去前	既存外壁の仕上材の撤去 ・あり ・なし 下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様 通気層 ・あり (mm) ・なし 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 特記なき事項は、製造所の仕様による。		
		(1)施工区画とは、処理作業室、センサーピート、廃棄物置場、資材置場等を含む本処理工事に直接又は間接的に係る区画、施工区画周辺とは、その区画境界の前後1m以下の範囲をいう。 (2)処理作業室の面積が50m以下の場合2点、300mまでは3点とする。 300mを超えるような場合は、監督職員と協議する。			
		測定方法 JIS K 3850-1 (空気中の繊維状粒子測定-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法) による。 種類 ※位相差顕微鏡法 試料採取ツールを二分割し、一方を位相差顕微鏡法用として使用し、他方はその結果が高い場合 (10倍以上) に行う位相差・分散顕微鏡法用に保存しておく。 ・位相差・分散顕微鏡法 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。			
		測定3 (作業環境) 测定1, 4, 5, 7 (室内環境) 测定2, 6, 8 (大気環境)			
		サンブレンフィルターの直径 (mm) 25 25 47 試料の吸引流量 (L/分) 1 5 10 試料の吸引時間 (分) 5 120 240 計数視野数 50 50 50 定量限界 (本/L) 50 0.5 0.3			
		測定記録項目 (1) 除去するアスペクト含有建材の種類 (2) 測定店の位置の図面 (3) 測定1時、天候、気流 (4) 試料採取条件 (5) 標本作製方法 (6) 使用顕微鏡の種類 (開口数を含む) (7) 計数条件 (HEMストライド) の読み取りゲループ番号を含む) (8) 繊維数濃度 (位相差顕微鏡法の場合は総纖維数濃度、位相差・分散顕微鏡法の場合はアスペクト纖維数濃度) (9) 定量限界 (10) その他			
		アスペクト含有材の除去 (レバム1) 行う (9.1.3) 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※改修標仕9.1.3(b) (1) (i) ~ (iv) による 除去したアスペクト含有吹付け材等の処理 ・セメント固化 除去対象範囲 ※図示 作業場の隔離 ・行う ・行わない 吹付け材については、事前調査の結果、アスペクトが含有されていないことが確認されています。(調査報告書あり)			

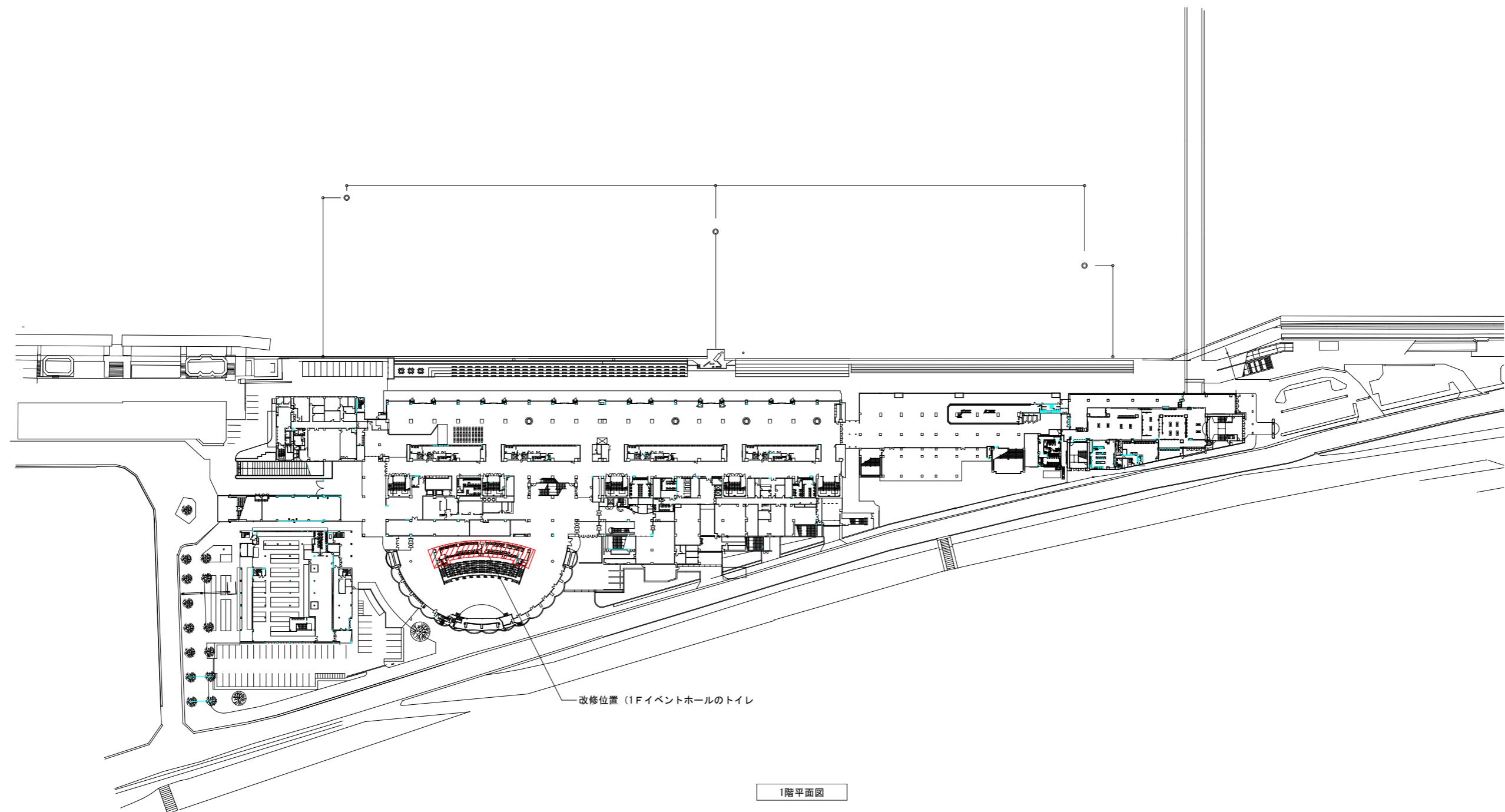
備考	作成	承認	工事名称	設計NO	図面NO
※謹官能指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。	R7.3.31	イベントホールトイレ改修工事設計委託			
修正	発行	図面名称	縮尺	整理NO	A-07
		建築改修工事特記仕様書(6)			

工事仕様書		解体工事 特記仕様書	
1 施工条件	<p>請負人は戸田競艇施行組合（以下組合）が発注する建設工事において、次の事項を遵守しなければならない。</p> <p>1) 施工中においても競走開催を中止しないので、競走開催のための施設保持に万全を期するものとし仮設電気、仮設給排水工事等の処置を施すものとする。 請負者の責任によりレース開催に支障を及ぼした場合は、請負者の補償となる為十分な保険等を付すること。</p> <p>2) 競走開催中及びその前日は大きい騒音・振動を発する工事等は原則として行うことは出来ない。（研り、コンクリート打設工事 等） 詳細については、組合と協議のうえ決定する。</p> <p>3) 材料の搬入搬出の日時並びに経路については、組合の指示をあらかじめ受け実施するものとする。</p> <p>4) 工事用電力は原則として請負人負担による自家発電機又は仮設電力とする。</p> <p>5) 当該工事場所以外の出入りは原則として禁止する。当該工事の関連等でやむなく出入りしなければならない場合は、あらかじめ組合の承認を受けるものとする。</p> <p>6) 材料置場、現場事務所等の用地については、組合と協議の上、請負人について確保すること。</p> <p>7) 夜間作業を行う場合はあらかじめ組合の承認を受けるものとし、作業時には火災防止等に万全を期すものとする。 またの場合によっては、専従の警備員を配備するなどの処置をとるものとする。</p> <p>8) 競走開催日は3ヵ月毎に正式決定される。決定され次第組合より連絡を受ける。</p> <p>9) 工事に関しては、監督職員より様々な指示を行うが、特に緊急事項について監督職員を経由しないで組合より直接請負者に指示がされる事があるが、その場合はその指示に従うこと。</p> <p>10) 計画図等においてあらかじめ明示された以外の埋設物等が発見された場合は、請負人は独断で判断せず、組合及び監督職員の指示を受けるものとする。なお、場合によっては、工事着手前の状況から判断する場合があるので、請負人はあらかじめ工事着手前の現況写真を撮影しておくものとする。</p> <p>11) 仮設光熱費等 a) 工事に使用する電力・用水・ガスは、請負者にて仮設引き込みをすること。競走場のものは一切使用しては成らない。 b) 全工事（別途工事を含む）が工期内に完全引渡し完了することを考慮し、その日時にふさわしい日時を各請負者間に於いて協議し、監督職員や組合と打合せを行い決定する。 使用料金（本工事に関する電力及用水使用料金）は、完成引渡し日まで請負者にて負担するものとする。 なお、その料金の振分けについては、各請負者間で協議を行うこと。 c) 詳細日程は、監督職員と協議し決定する。</p> <p>12) 別途工事・トーターシステム工事が行われるが、その機器装置及び配線の重要性を十分認識し、別途工事担当会社、トーターシステム工事担当会社とよく協議すると共に、各下請協力業者に協力を徹底させること。 (機器移設に伴う 1 次側の建築補修は原則的に請負者負担とする)</p> <p>13) 完成引渡し日後、競走開催日に請負者及び監督職員の指示するメーカーに立ち会いをさせる。</p> <p>14) 工事着手時及び工事完成時に組合監督員から指示を受けた備品類の引越し品の指定場所への移動するものとする。</p>	<p>A. 作業上の注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 足場等の仮設については、労働安全規則に従い適正な組立てを行うこと。 作業時間は騒音振動規制法に従い、早朝、夜間の作業は行わないこと。 また、開催中の作業については組合と協議のこと。 騒音、振動を伴う機械を使用する作業については、騒音振動規制法による届出をする他、現場監督員の指示に従い近隣等と迷惑がかかるないよう必要な処置を行うこと。 作業上のほこり等の飛散を防止する為、解体時は散水等必要な処置を行う事。 強風時は仮囲い等の転倒、飛散のないように特に注意し、必要な処置を行う。 転倒等の作業休止時は作業場外へ解体物の落下、転倒のないよう必要な処置を行うこと。 夜間等の作業休止時においては、現場内への部外者の侵入がないよう必要な処置を行うこと。 一般公道への出入りにあたっては、車両への付着物を確認し、必要に応じて車輪の清掃、並びに一般公道の清掃を行い、近隣の環境保全に努めること。 その他騒音規制については諸官庁と協議を行うこと。 <p>B. 工事範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> 図面による。 解体跡地の整地は、良質土（根伐土）で軽圧を行い、必要な措置をとること。 <p>C. 提出書類</p> <ol style="list-style-type: none"> 着工前 工事実施工工程表 処分場許可証明書（写し） 工事終了後 産業廃棄物処理伝票 産業廃棄物処理証明書 	
2 工事使用材料	材料製品メーカーについては、記載するメーカー同等品以上とし、使用材料は原則として、材料承認願いを監督員に提出のうえ、承諾を得ること。		
3 業者組織表並びに現場員	着工に先立ち、本工事の責任体制を明示した組織表並びに現場担当者各員の経歴、資格、責任業務を明示した人員表を作成し、監督員の承諾を得る。		
4 他工事との調整	他工事との取り合い、仮設施設の使用などに関して、当該工事関係者と密接に連絡をとり、工事に支障のないようにして、工事進行中に監督員より指示を受けた場合は、異議なく直ちに実施し、常に協力して各工事の進捗と完全な施工に努め、工事期間の紛争を未然に防ぐこと。		
5 一般事項	<p>建築材料等</p> <ol style="list-style-type: none"> 立会検査 竣工後検査が不可能又は困難な工事は、施工に当たり監督員の立会を受けなければならない。 また、必要に応じて写真を撮影する。 材料試験 諸材料について、官公署又はこれに準ずる会社等の検定等を要するものに合格したものを使用する。 材料 <ol style="list-style-type: none"> 材料は仮設用及び特に記載されたもの以外、全て新品とし、監督員の検査を受け、合格したものを使用する。 図面、または仕様書に記載してあるもの、及び監督員の指示するものの材料、工法、仕上の程度、色合い等は、あらかじめ見本板を提出して承諾を受ける。 試験は監督員の承諾する試験所で行い、その成績書を提出して承諾を受ける。なお、官庁に提出するものについても同様とする。 検査、または試験に要する費用は、全て請負者の負担とする。 検査、または試験終了後、合格した機材は指定の場所に整頓保管し、不合格となった搬入材はただちに搬出し、速やかに代品を納入して工事の進捗に支障をおこさないようにする。 		
6 統括安全衛生管理業者の指名	労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名を行う。		
7 諸官庁への手続き	請負者は、本工事に関わる諸官庁への手続きの一切を行うこと。また、必要に応じ、組合や監督員の補助、協力を行うこと。 (例：建設リサイクル法、消防法（着工・設置届、防火対象物使用開始届、工事中の消防計画書他）、建築基準法（第90条の3工事中の安全計画書）、興行場法、ビル管法等)		
8 施工計画・報告	<ol style="list-style-type: none"> 現場代理人は本工事の工期により各工事の進捗を考慮し、本工事の総合工程表を契約後20日以内に監督員に提出し、承諾を受ける。 (別途工事の工程を考慮して、工程表に盛り込むこと) 月間工程は毎月初めに月間工程表を作成する。工数工作程度を考慮し、必要とする人員を書き込むものとする。 上記工程表の作成に当たって必要のある場合は、監督員の指示により、別途工事の現場代理人と協議する。 		
9 報告	請負者は、下記の事項を報告書にまとめて、監督員に提出する。 <ol style="list-style-type: none"> 工事日報・週報・月報・中間報告・最終総括報告 各種試験結果成績表 各工事施工結果成績表 		
10 完成図・その他	以上のほか、監督員が指示する事項は全て報告を行うものとする。また、報告形式その他については、監督員の指示による。 完成後、速やかに下記の完成図書を提出する。 <ol style="list-style-type: none"> 下記の図面（完成図書は、電子図でも納品する。（CAD、PDF）※CADソフト等は協議による） <ol style="list-style-type: none"> 完成図 1. 一般共通事項 No.19 「完成時の提出図書」による。 施工図 2つ折り製本 5 部 原図共 取扱い説明書、機器完成図（A4版ファイル）5 部 （電子図でも納品する。（PDF等）） 完成引渡書 5 部（分冊可） 引渡書、工事写真帳、完成写真帳、鍵類・予備品受領書（明細一覧表共）、施工者一覧表、機器完成図、各種試験成績表、保証書 使用材料報告書、官庁届出書（写し）、取扱い説明書、保守指導書、その他監督員の指示する書類 国土交通省提出用図書 5 部 監督日誌（A4ファイル）1 部 材料検査書（A4ファイル）1 部 工事日報（A4ファイル）1 部 工事材料搬入報告書（A4ファイル）1 部 		

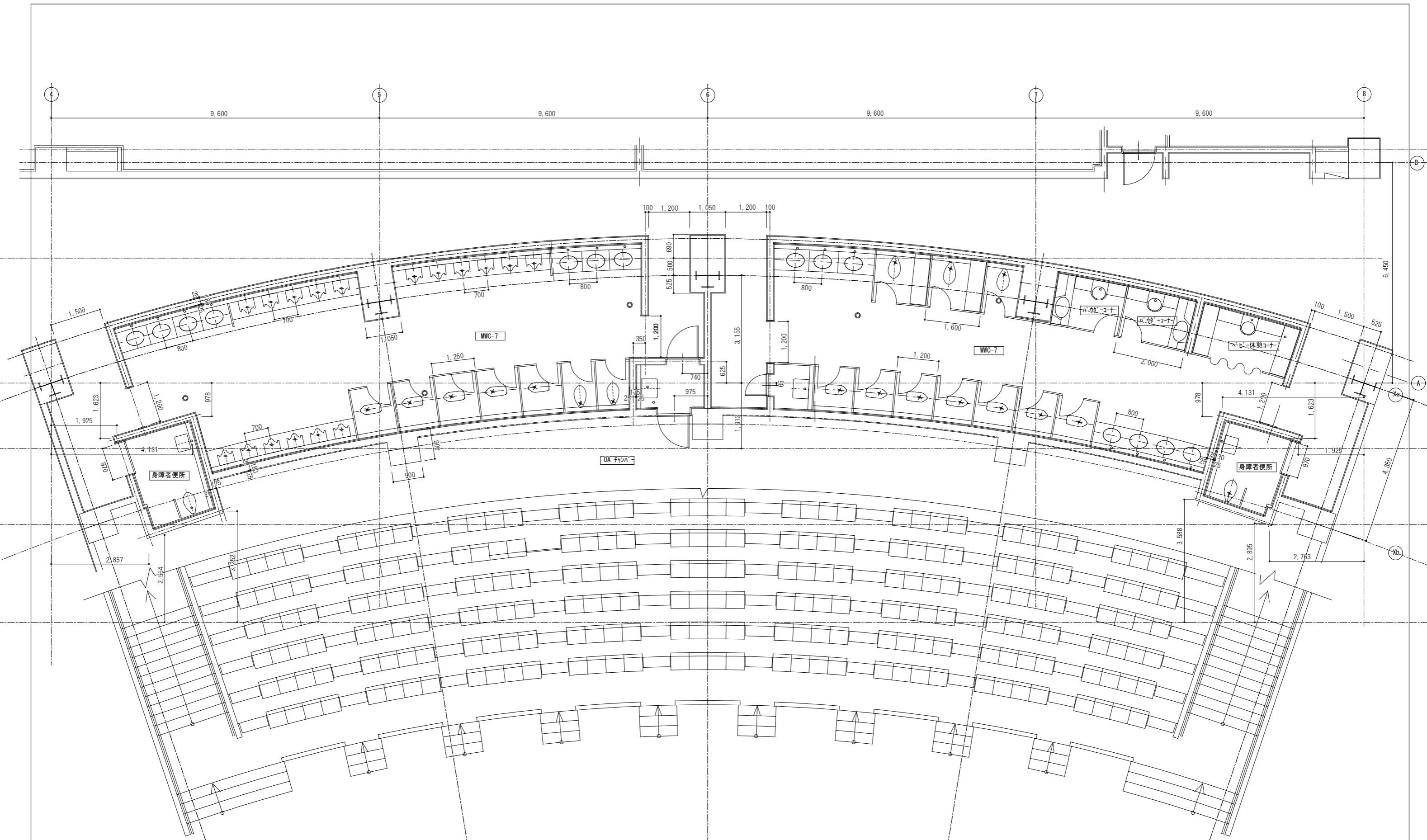
年 月 日	備考	作成 R7.3.31	承認	工事名称	設計NO	図面NO
訂正	※諸官庁指導等の事由により、計画内容に変更が生じる場合があります。 ※現況が図面の内容と異なる場合は現況を優先とし、それにより変更が生じる場合があります。	免行	● ●	イベントホールトイレ改修工事設計委託 建築改修工事特記仕様書(7)	整理NO	A-08

地理院地図
GSI Maps

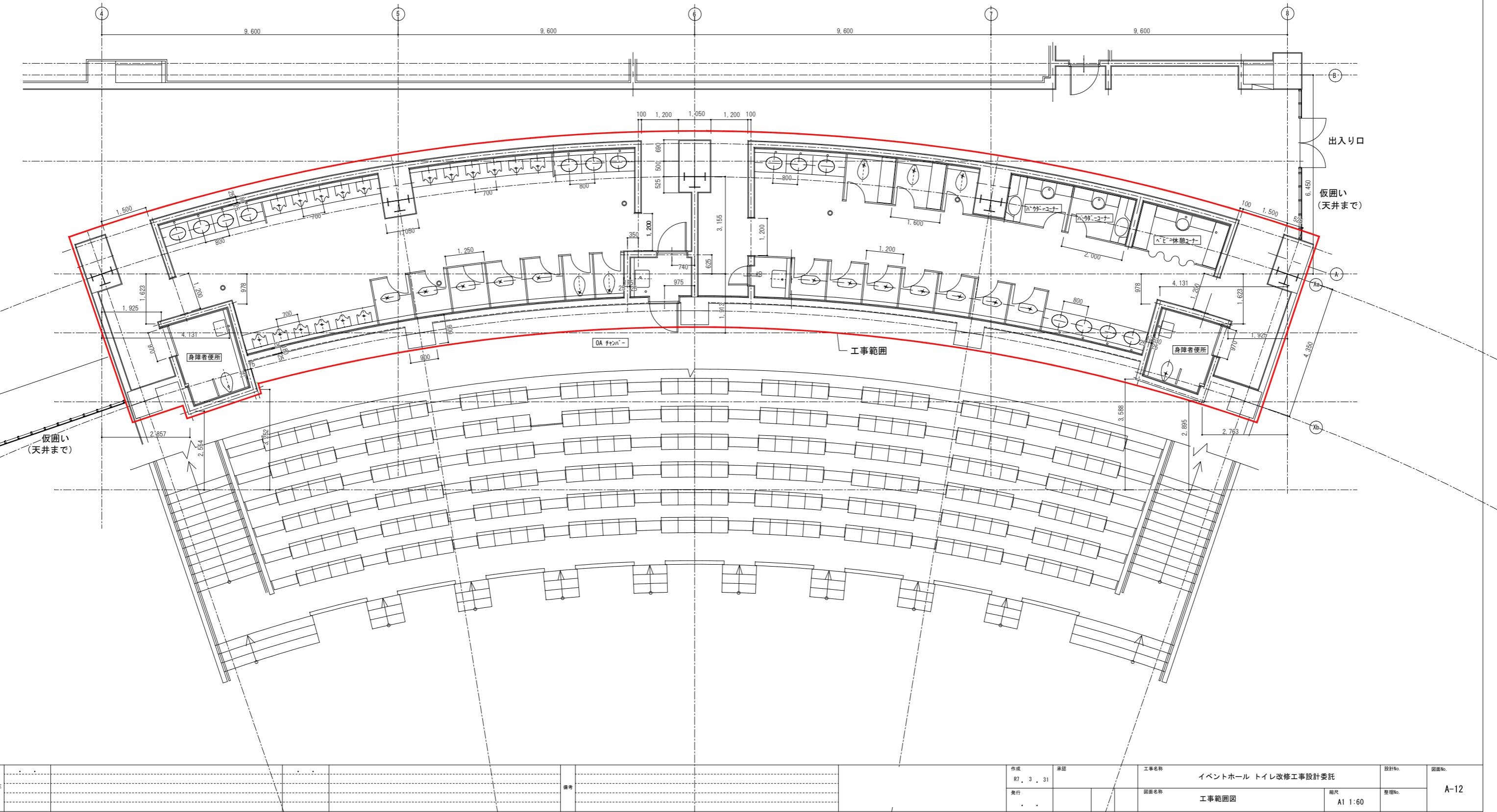




訂正	備考	作成 R7・3・31	承認	工事名称 イベントホール トイレ改修工事設計委託	設計No.	図面No.
		発行		図面名称 配置図	縮尺 A1 1:1000	整理No. A-10

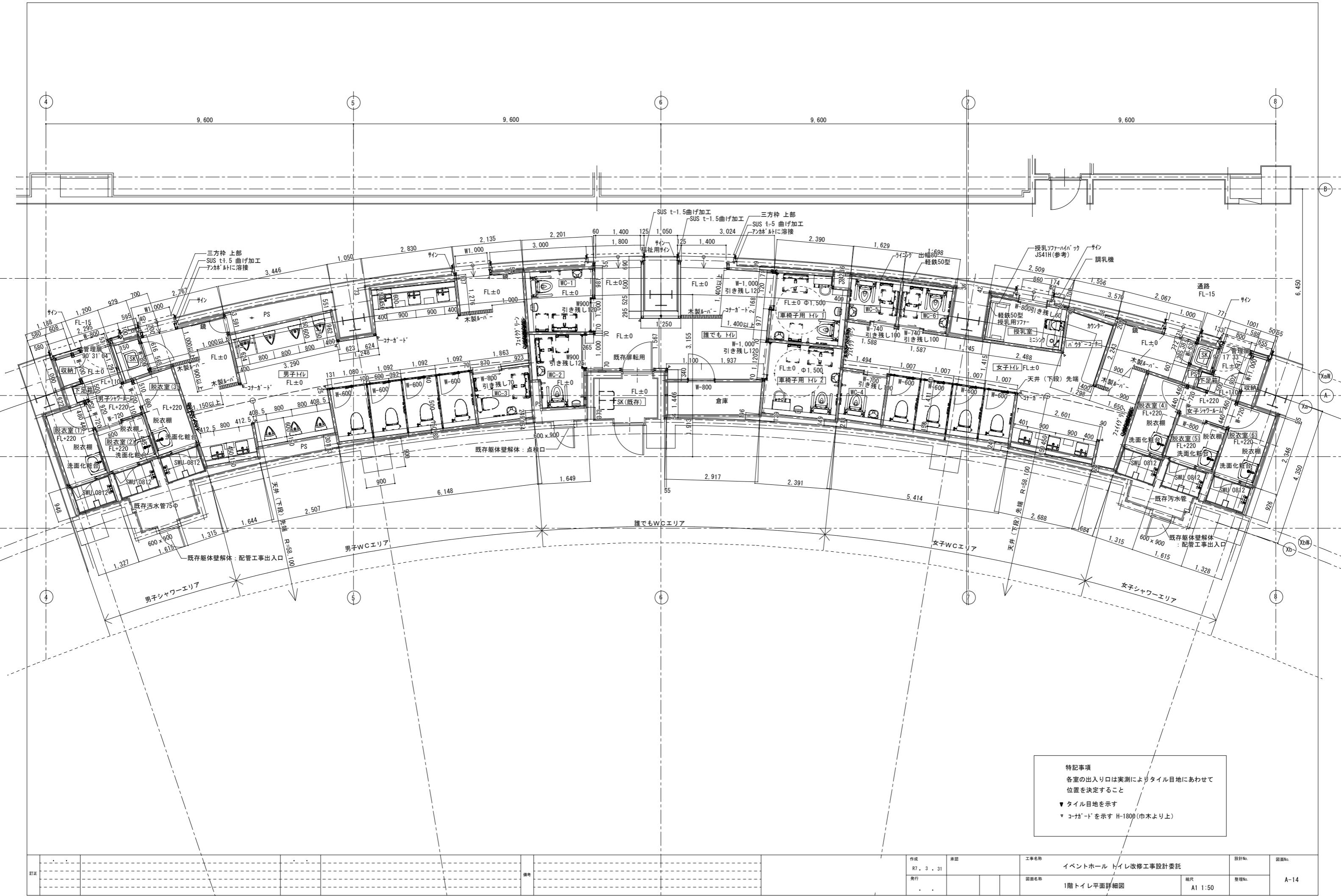


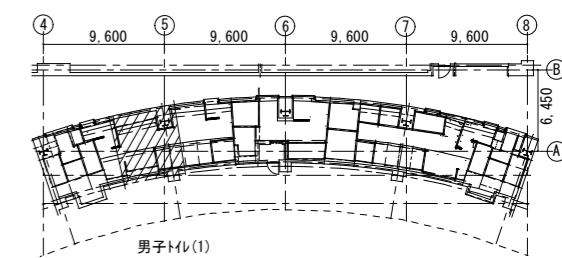
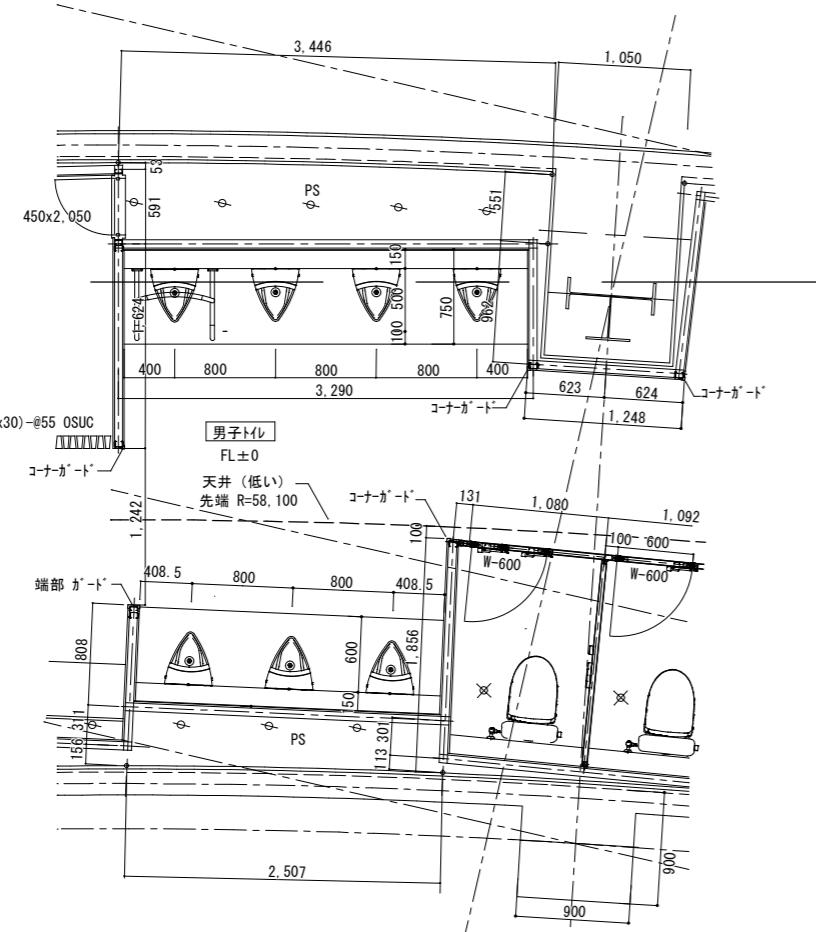
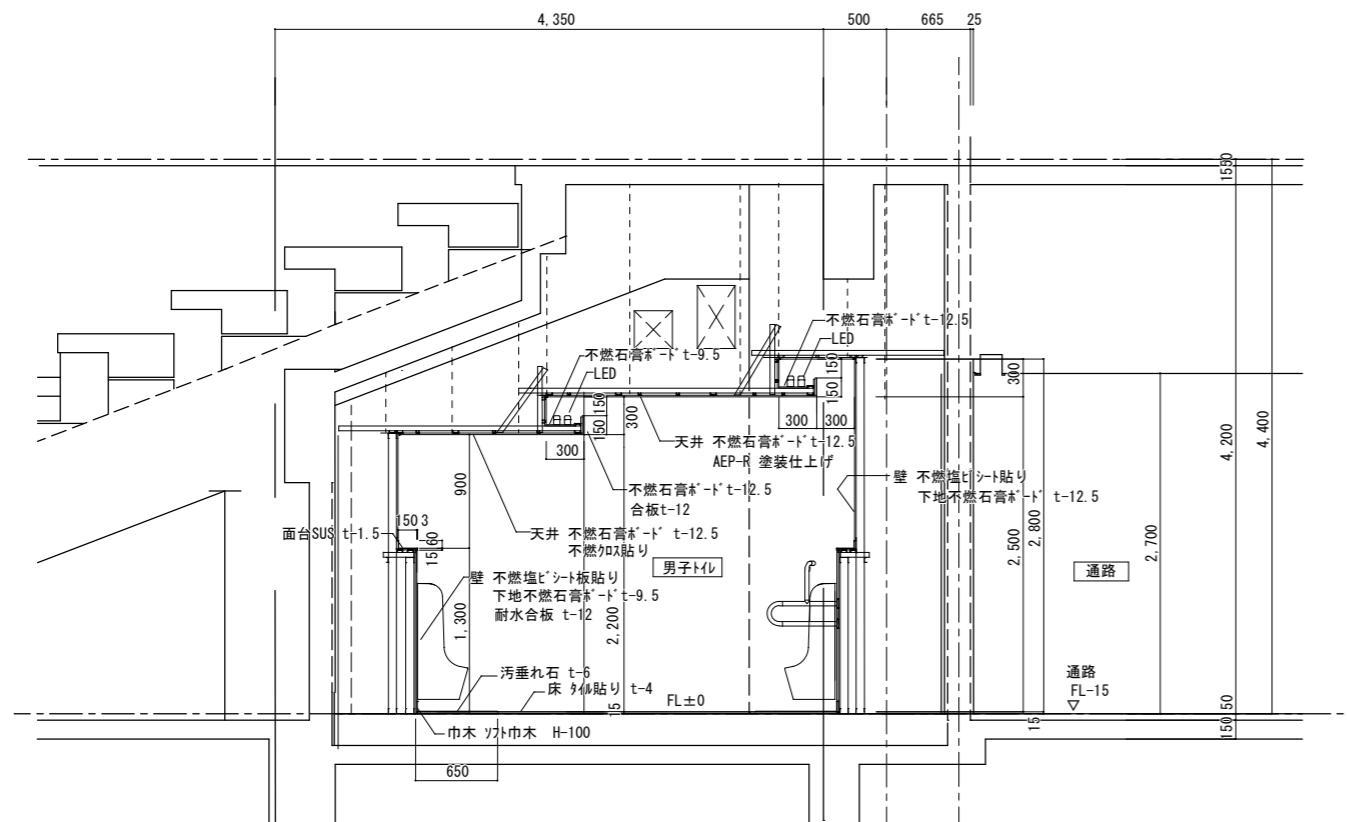
訂正	・	・		・	・				作成 R7.3.31	承認	工事名称 イベントホール トイレ改修工事設計委託	設計No.	図面No. A-11
									発行		図面名称 現況図	縮尺 A1 1:50	
									・			整理No.	



設計概要						
工事名稱	イベントホールトイレ改修工事設計委託					
改修面積	194m ² 床レベル既存床+15mm					
工事概要	建築工事 天井全面撤去、間仕切壁一部撤去 床及び壁は残す					
	電気設備工事 別紙参照					
	機械設備工事 別紙参照					
仕上げ表						
室名	床	巾木	腰	壁	天井	天井高さ
誰でもトイレ	光触媒タイル貼り t-4 600角	タイル H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	AEP-R 塗装仕上げ 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,200 H-2,500 H-2,800
男子トイレ	光触媒タイル貼り t-4 600角	タイル H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃カバ貼り (一部 AEP-R 塗装) 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,200 H-2,500 H-2,800
				低い天井 先端 R=58,100		洗面カウンタ-人造大理石 ライニング 面台SUS 大便器間仕切 パーテーション天井まで(マン-参照) 小便器 汚垂石 鏡 ピ'外
女子トイレ	光触媒タイル貼り t-4 600角	タイル H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃カバ貼り (一部 AEP-R 塗装) 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,200 H-2,500 H-2,800
				低い天井 先端 R=58,100		洗面カウンタ-人造大理石 ライニング 面台SUS 大便器間仕切 パーテーション天井まで(マン-参照) ピ'外
WC-1 2	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃カバ貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500
WC-3	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃カバ貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,200
WC-4	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃カバ貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,200
WC-5 6	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃カバ貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500
車椅子用トイレ 1	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃カバ貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500
車椅子用トイレ 2	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃カバ貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500
男子シャワールーム	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地強化石膏ボード t-12.5	不燃カバ貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,400
	不燃複合フローリング t-12					
女子シャワールーム	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃カバ貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,400
	不燃複合フローリング t-12					床高 FL+220 上り框(2段)堅木 床下地 構造合板 t-12 パーティクルボード t-20 ブラホレ 下足箱 ピ'外
男子用収納	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃カバ貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,400
女子用収納	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃カバ貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,400
男子用SK	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃カバ貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500
女子用SK	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃カバ貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500
男子脱衣室 1 2 3	不燃複合フローリング t-12	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	岩綿吸音板貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,180
女子脱衣室 4 5 6	不燃複合フローリング t-12	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	岩綿吸音板貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,180
バカラーコーナー	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	AEP-R 塗装仕上げ 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500 H-2,800
授乳室	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃カバ貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500
倉庫	光触媒タイル貼り t-4 600角	ソフト巾木 H-100	不燃塗ビシート貼り	下地不燃石膏ボード t-12.5	不燃カバ貼り 下地不燃石膏ボード t-12.5	H-2,500
通路(トイレの外)	タイル貼り(既存)	ソフト巾木 H-100	人造大理石(既存)	岩綿吸音板貼り(既存)		H-2,700
SK(既存)	—	—	—	—		床:クリーニング 壁、天井:塗装仕上げ 既存部分は表改装修(塗装、クリーニング等)
注意事項	特記なき限りは下記とすること。					
① 既存イベントホールの改修工事は、本場と開催しながらの工事になるため、安全、騒音、振動、ほこりに十分に注意して行う。	① 見え掛りの框、面台はステンレスHL SUS304とする。					
② 出来る限り既存WCは工事中にも利用できるように、工事計画をすること。						
③ 既存の床、壁、天井、設備は再利用や残置利用を図り、環境負荷低減を図ること。						
④ 通路側の床、壁タイルは目地は、既存部分と新設部分は目地分かれにすること。						
⑤ 既存の排水管は床上で接続すること、スラブ下の工事はできる限りしないこと。						
⑥ RC壁の解体及び床アンカー打ちは騒音、振動が大きいため開催中は行わないこと。						
⑦ 仮囲はほこりが工事区画外に飛散しないように仮設壁で、密封し出入は扉を設置すること。						
⑧ 巾木は特記なき限り ソフト巾木H-100とする						
工事工程						
着工	4 M	竣工				
8月上旬		12月上旬				

訂正									作成 R7.3.31	承認	工事名称 イベントホールトイレ改修工事設計委託	設計No.	図面No.
													A-13
									発行 .		図面名称 設計概要	縮尺 A1 1:50	整理No.

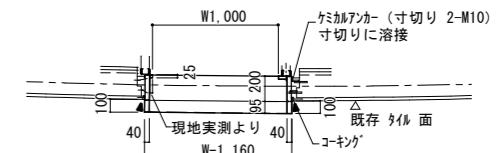
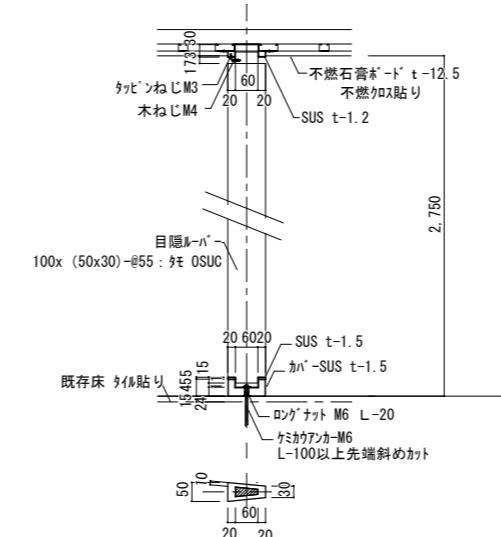
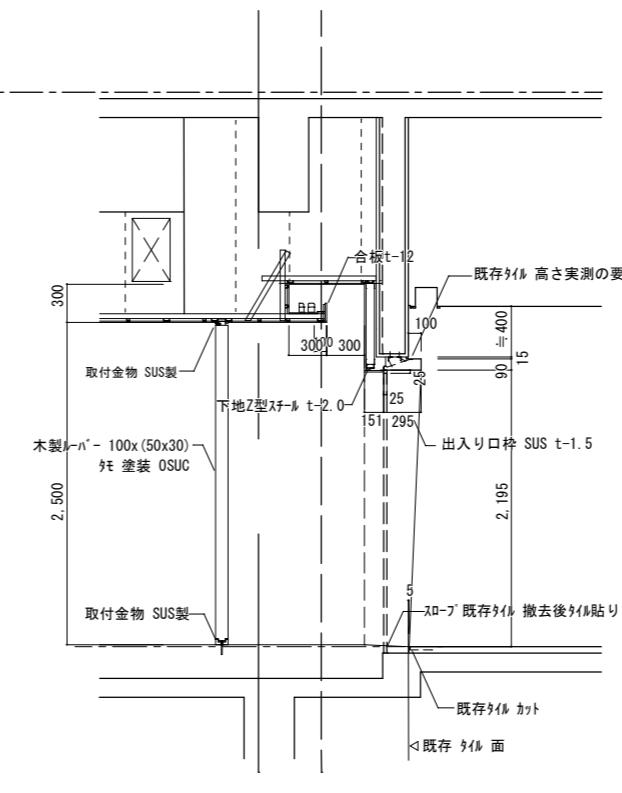
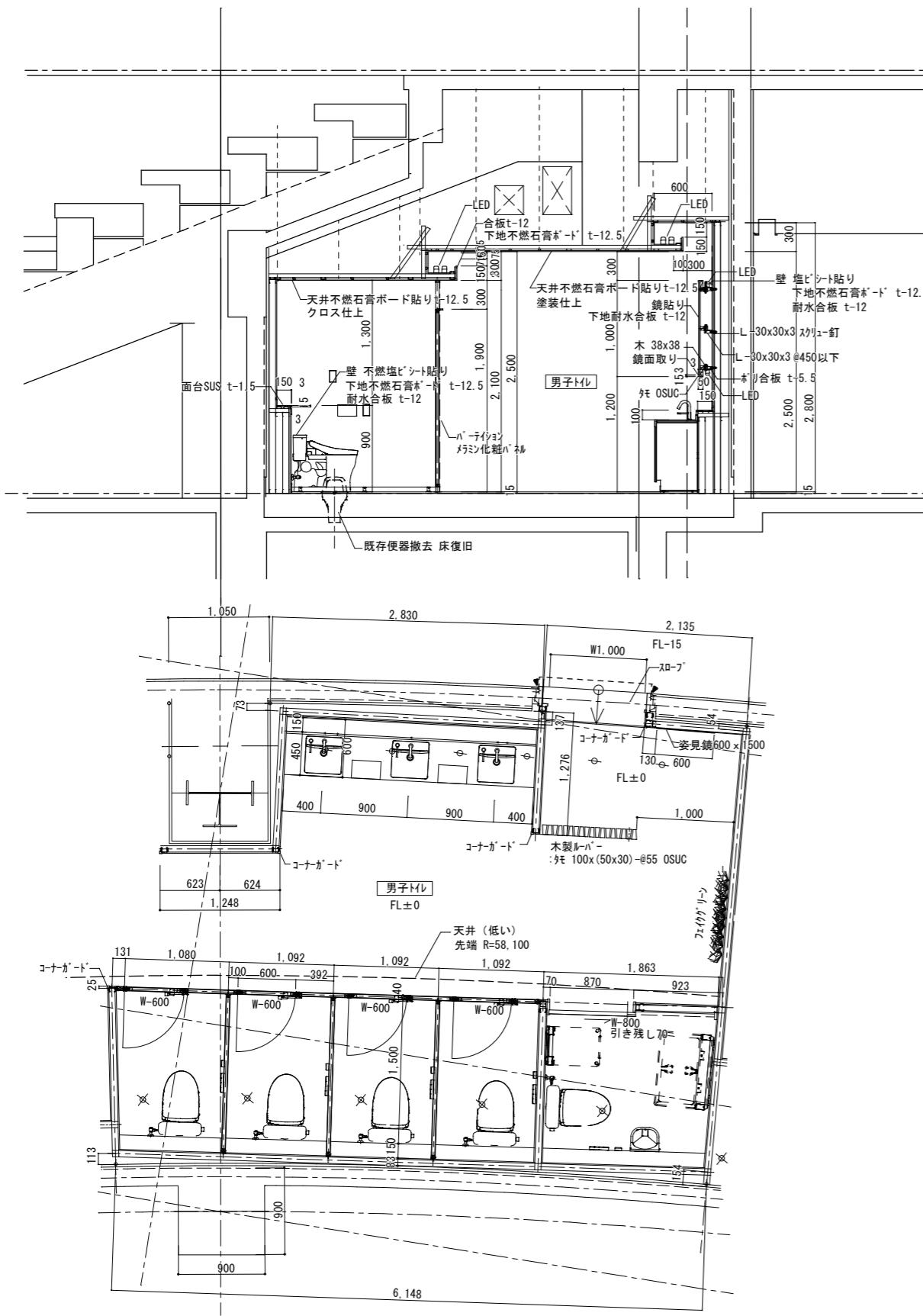




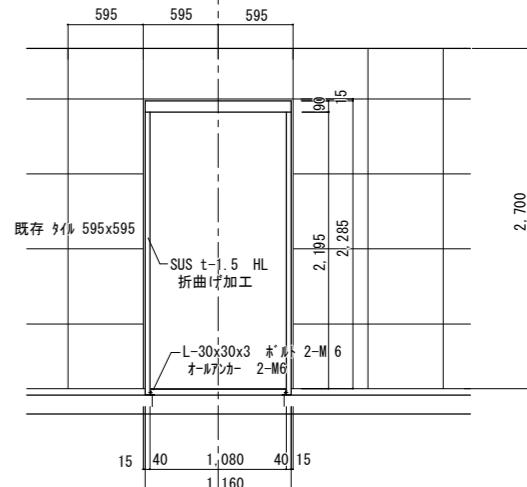
Key Plan

備考

作成 R7. 3. 31	承認	工事名称	イベントホール トイレ改修工事設計委託		設計No.	図面No.
発行 . .		図面名	断面詳細図 平面詳細図 (1) 男子トイレ(1)	縮尺 A1 1:30	整理No.	A-15



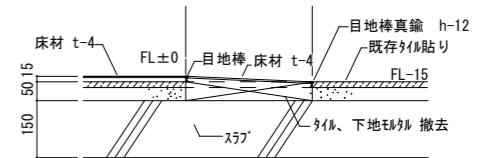
圖書群



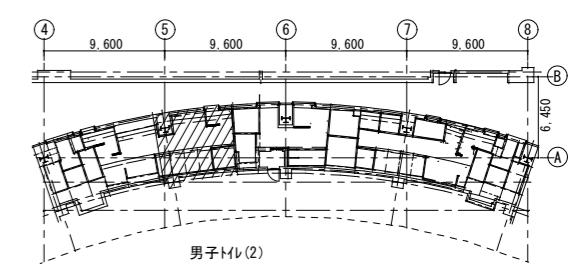
40 15

通路 FL-15 | 下部詳細図

地実測要、(夕ル目地合わす)



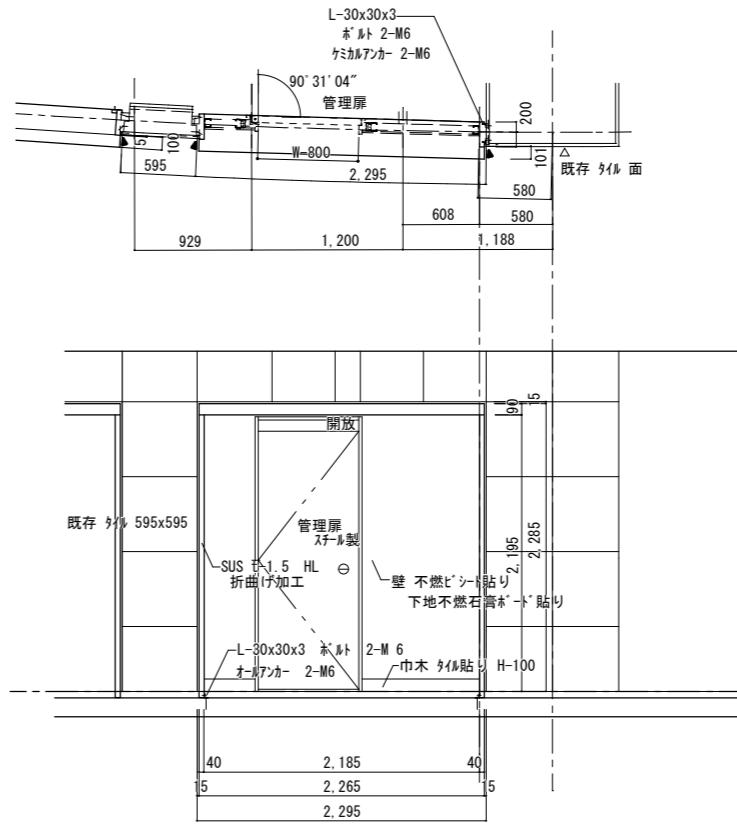
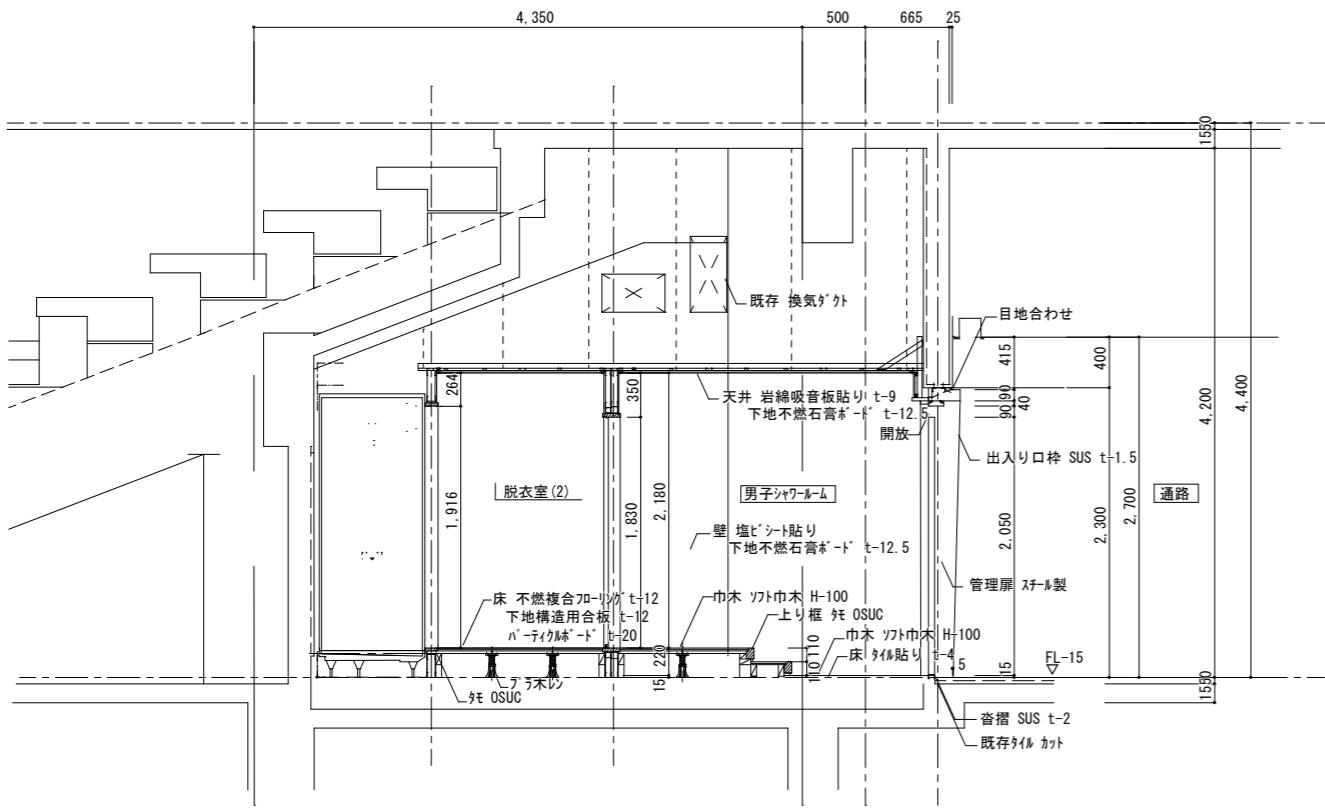
出入口図-7^o 詳細図 S=1:10



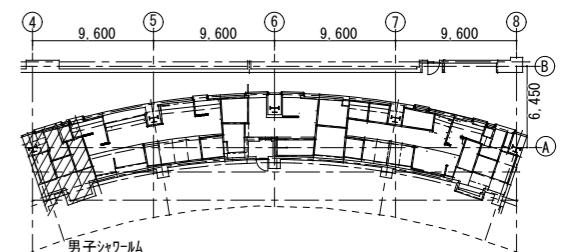
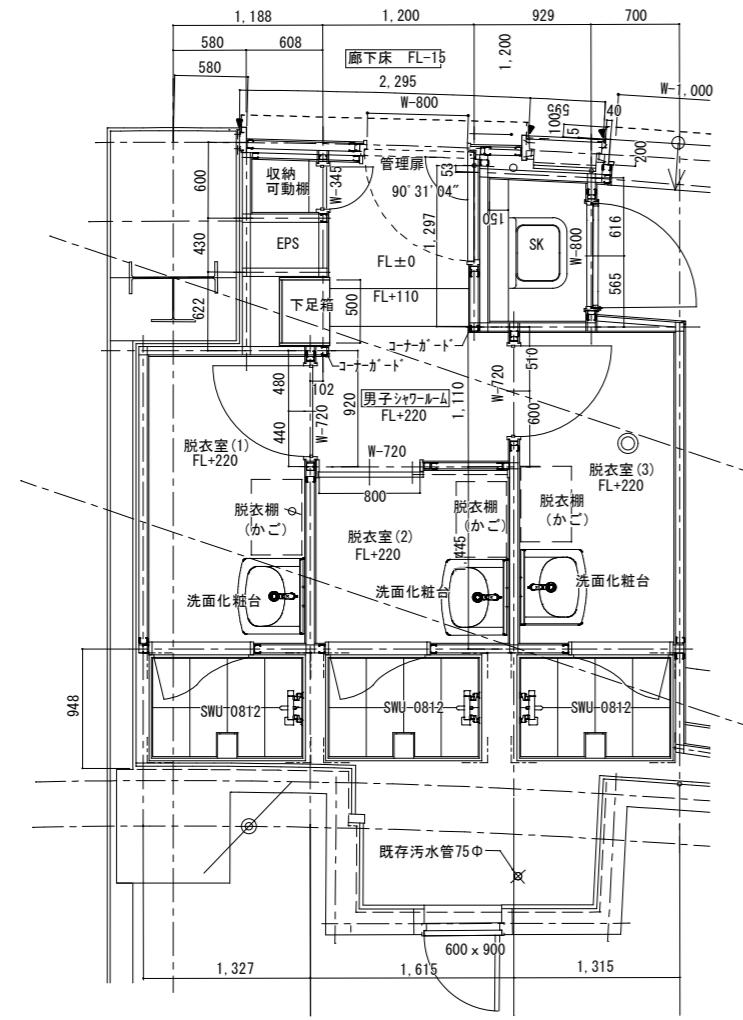
Key Plan

訂正

		作成 R7. 3. 31	承認	工事名称 イベントホール トイレ改修工事設計委託	設計No.	図面No.
	発行			図面名称 断面詳細図 平面詳細図(2) 男子トイレ(2)	縮尺 A1 1:30	整理No. A-16



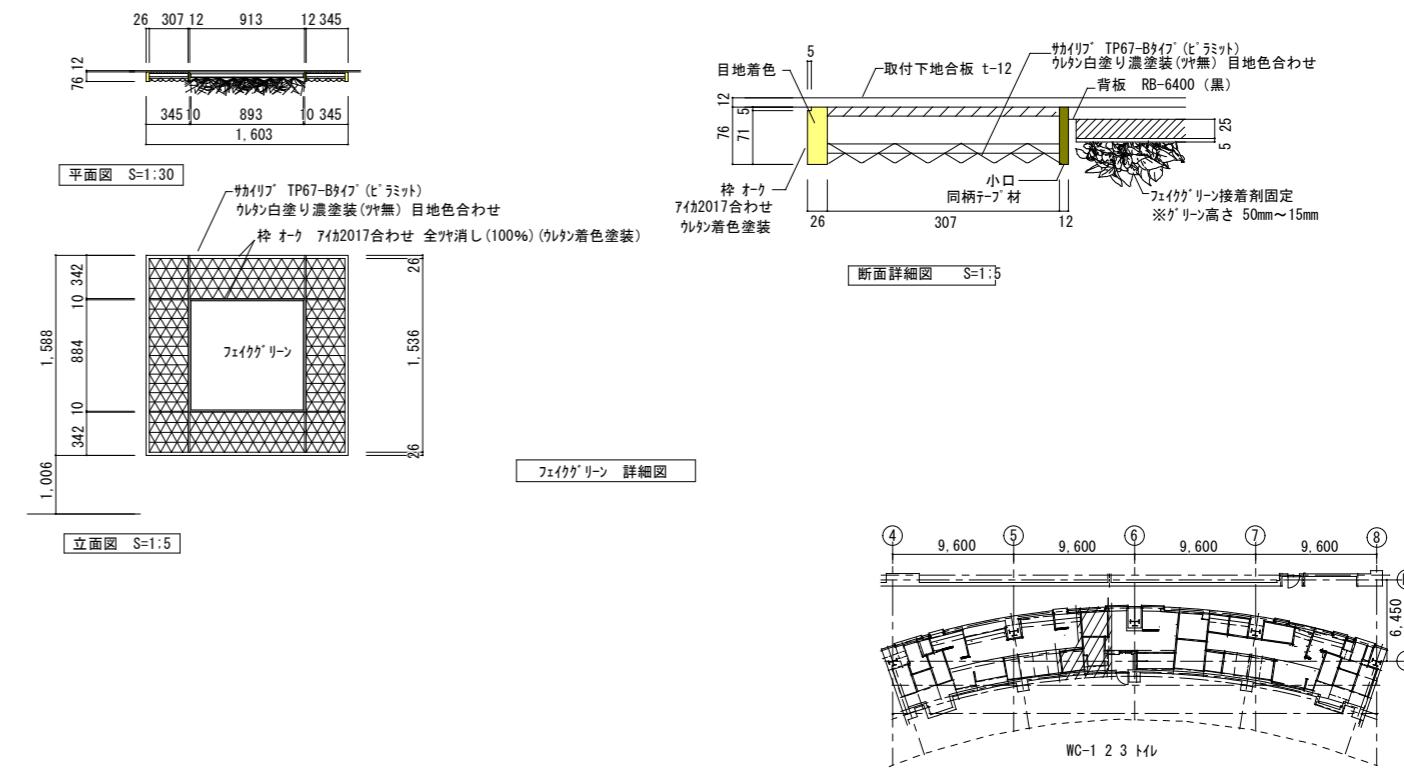
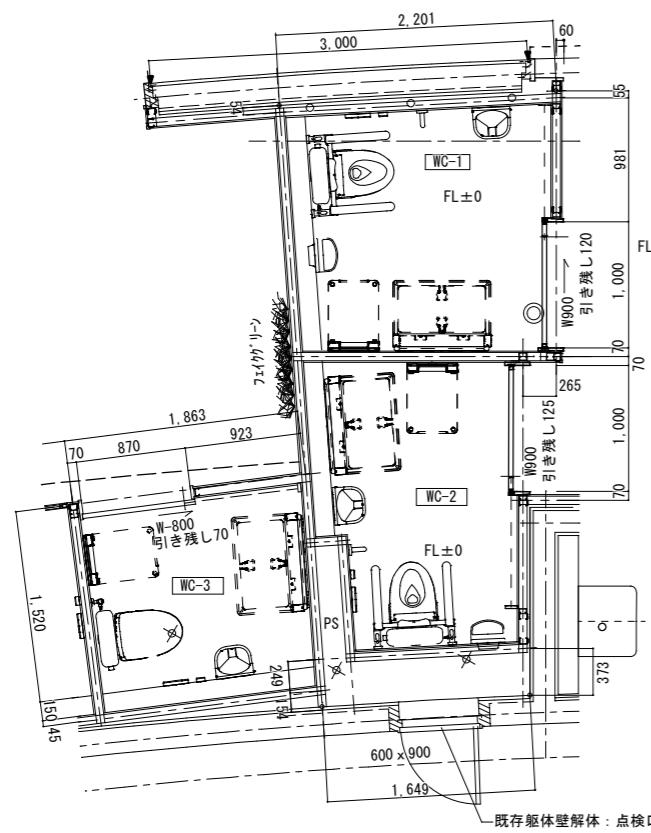
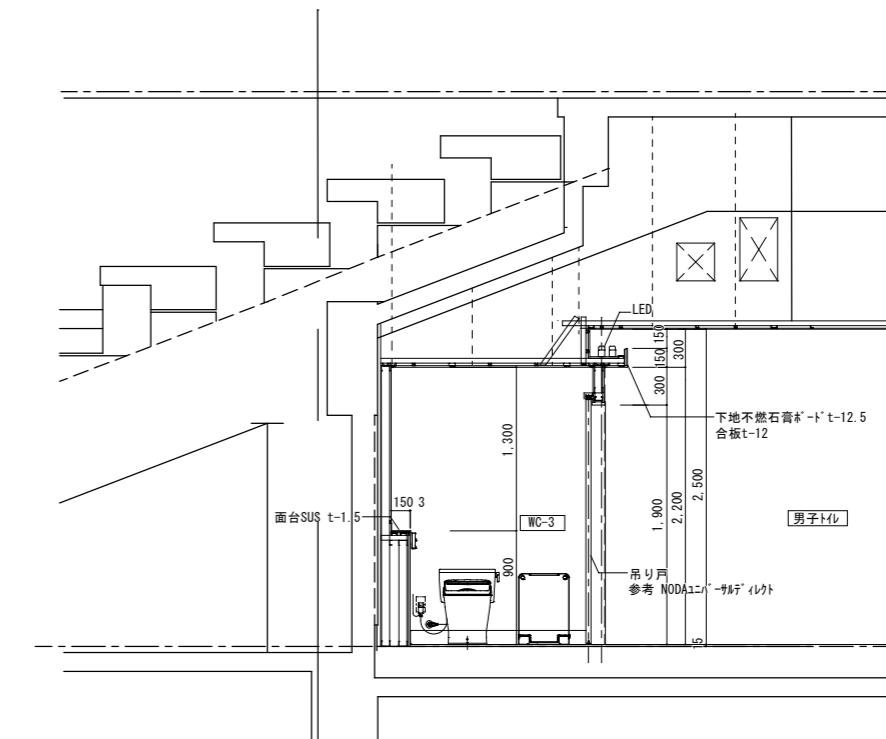
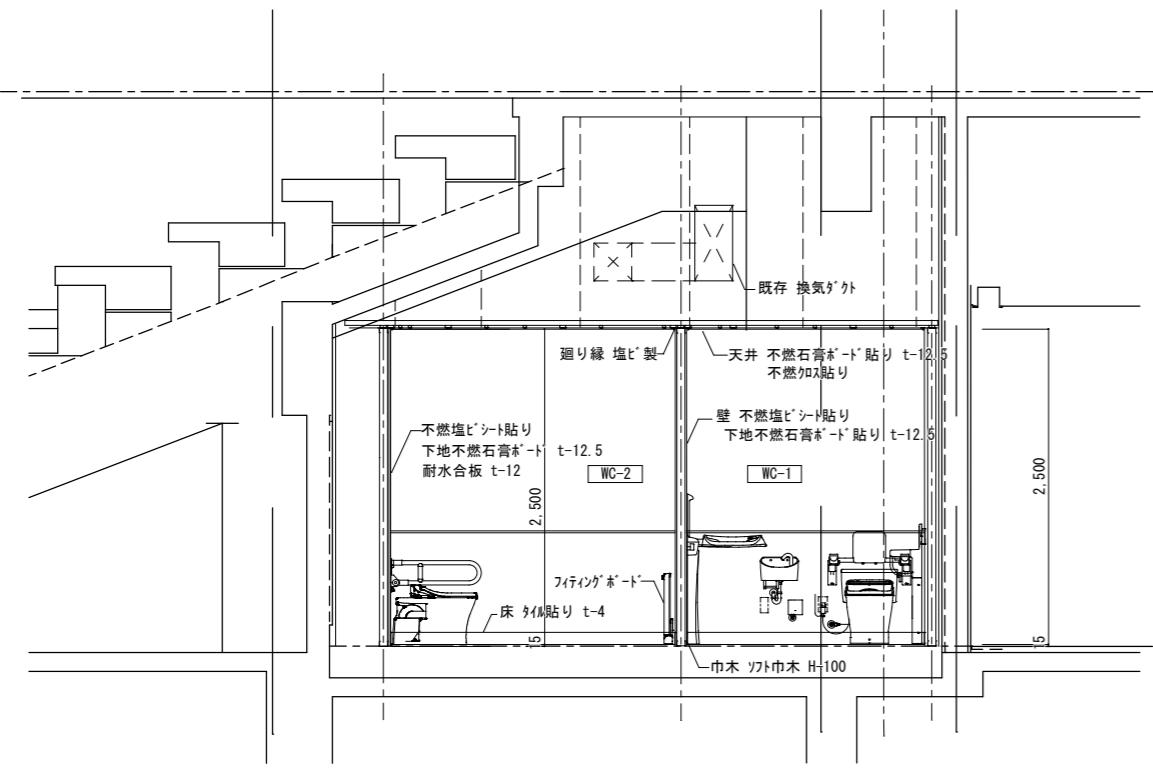
*3方枠取付位置は現地実測の上、タイル目地合わす



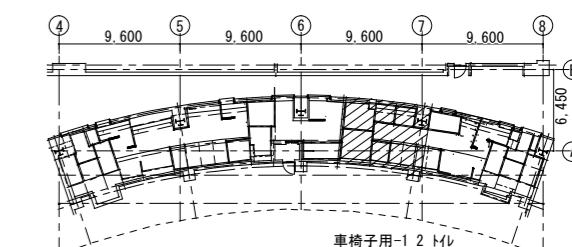
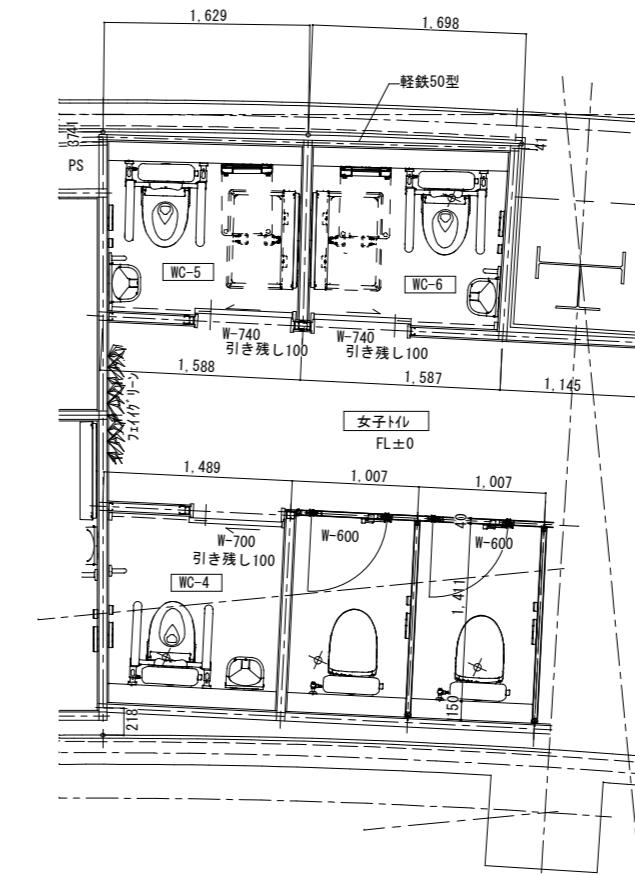
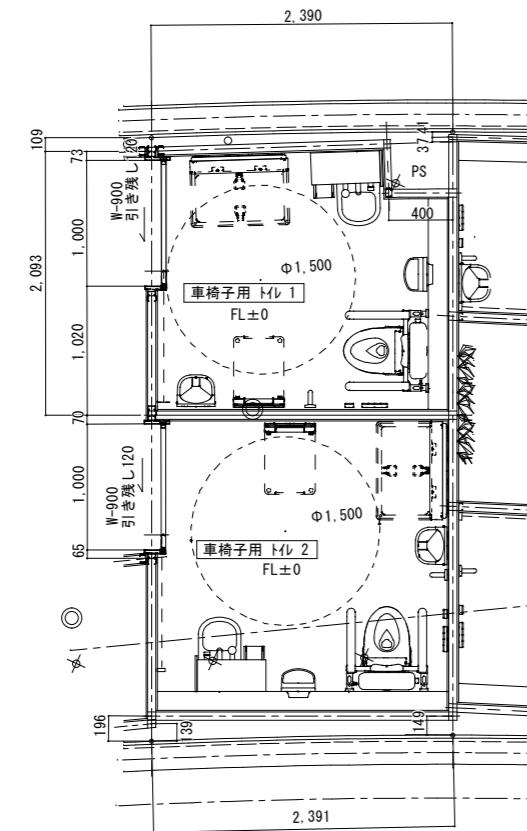
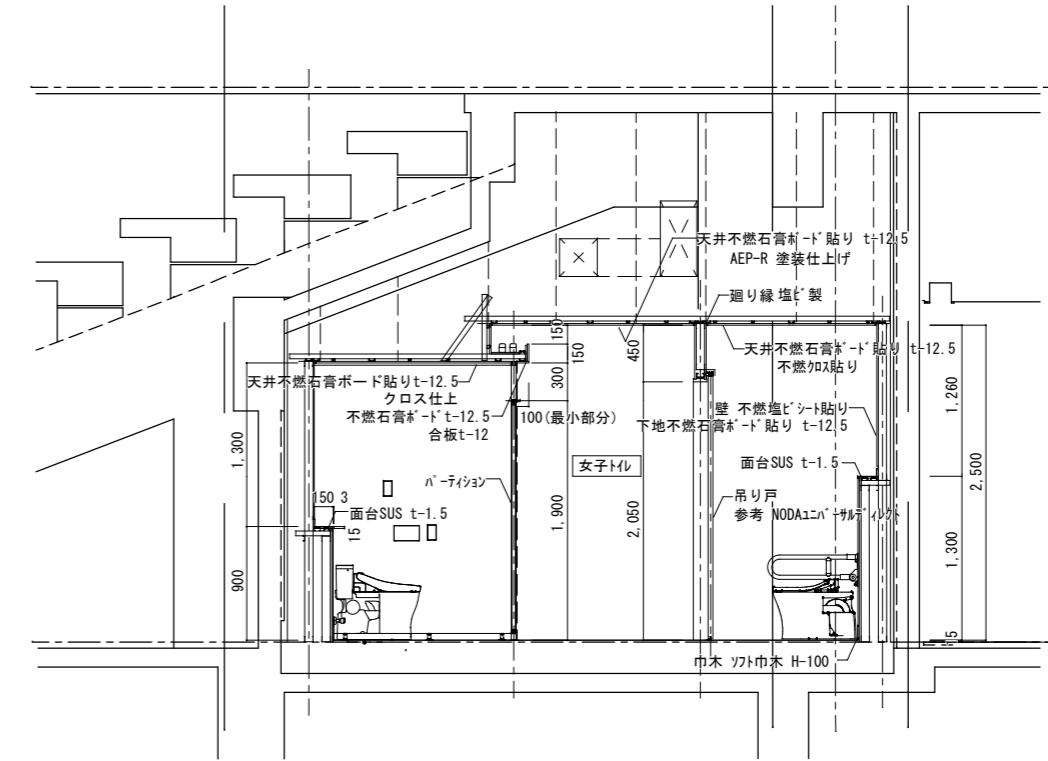
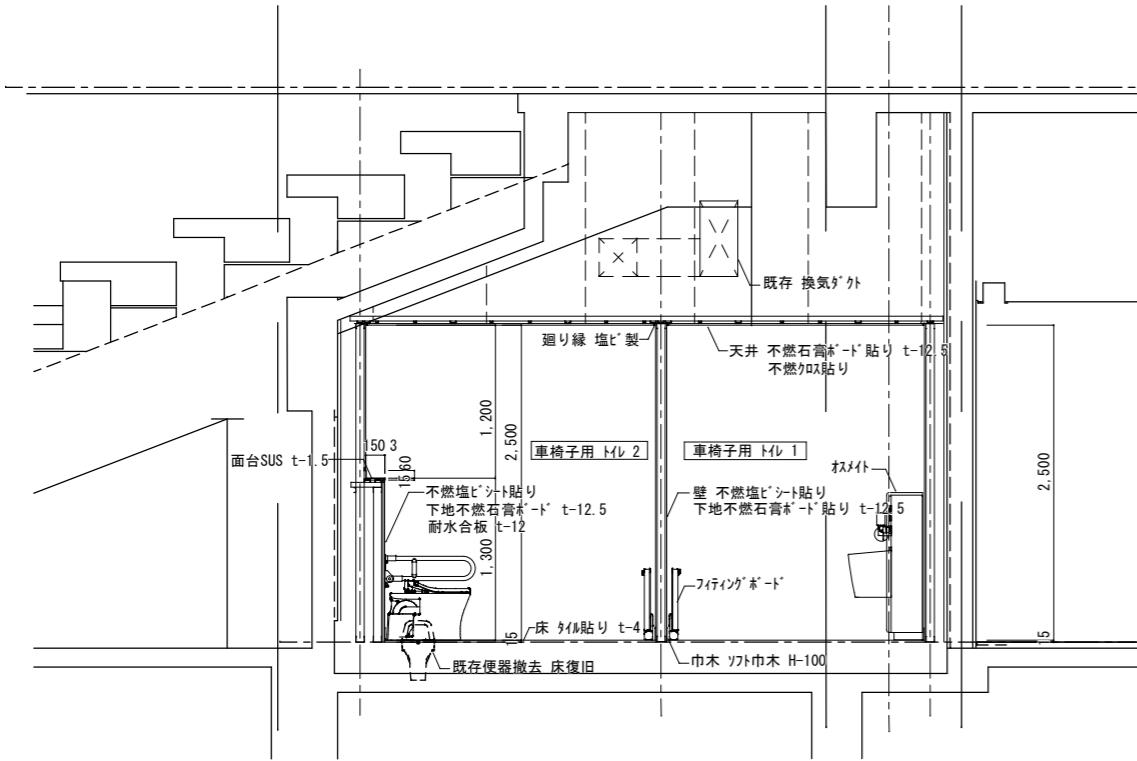
Key Plan

訂正						備考	
----	--	--	--	--	--	----	--

作成 R7.3.31	承認		工事名称 イベントホール トイレ改修工事			設計No.	図面No. A-17
	発行 .			図面名称 断面詳細図 平面詳細図(3) 男子シャワールーム	縮尺 A1 1:30	整理No.	



作成 R7.3.31	承認	工事名称 イベントホール トイレ改修工事設計委託	設計No.	図面No.
発行 .	.	図面名 断面詳細図 平面詳細図(4) 男子トイレ WC-1 2 3	縮尺 A1 1:30	整理No. A-18



Key Plan

訂正					備考
----	--	--	--	--	----

		作成 R7. 3. 31	承認	工事名称 イベントホール トイレ改修工事設計委託	設計No.	図面No.
		発行 .		図面名称 断面詳細図 平面詳細図(5) 車椅子用トイレ 1, 2	縮尺 A1 1:30	整理No. A-19